



第4次 留萌市子どもの読書活動推進計画



〔令和4年度～令和7年度〕

すくすく伸ばそう読書の芽



留萌市教育委員会

目 次

第1章 子どもの読書活動推進のための基本的な考え方	1
1 計画策定の目的	1
2 基本理念	2
3 計画の期間	2
4 計画の体系	2
第2章 子どもの読書活動の現状と課題	3
1 子ども読書計画の現状	3
2 「第3次計画」における検証と課題	4
第3章 子どもの読書活動推進の方策	7
《推進項目1》家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進	7
(1) 家庭・地域における子どもの読書活動の推進	7
○現状と課題	7
○推進方策・取組項目・取組内容	8
○担当課等における取組方針	11
(2) 学校等における子どもの読書活動の推進	12
○現状と課題	12
○推進方策・取組項目・取組内容	13
○担当課等における取組方針	14
《推進項目2》子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備	15
(1) 市立留萌図書館の整備・充実	15
○現状と課題	15
○推進方策・取組項目・取組内容	16
○担当課等における取組方針	17
(2) 学校図書館の整備・充実	17
○現状と課題	17
○推進方策・取組項目・取組内容	18
○担当課等における取組方針	18
(3) 子どもの読書活動推進に係る体制の整備	19
○現状と課題	19
○推進方策・取組項目・取組内容	19
○担当課等における取組方針	20
第4章 留萌市子どもの読書活動推進計画事業一覧	21
《資料1》 子どもの読書活動の推進に関する法律	23
《資料2》 「るもい市子ども読書アンケート調査」実施結果	25

第1章 子どもの読書活動推進のための基本的な考え方

1 計画策定の目的

国は、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を定め、“すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書を行うことができるよう”、平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第一次）」を策定し、以降、平成30年4月には「第四次基本計画」を策定しました。

北海道も同様に、平成15年11月に「北海道子どもの読書活動推進計画（第一次計画）」が策定され、平成30年3月には「第四次計画」が策定されています。

本市においては、国や道の計画を受け、平成16年2月に「留萌市子どもの読書活動推進計画」（第1次推進計画）、平成22年4月に第2次推進計画、平成28年7月に第3次推進計画を策定し、留萌市のすべての子どもが読書に親しみ、読書習慣を身に付け、読書に喜びを感じることができるよう、『いつでも、どこでも読書ができる』環境づくりを進めるとともに、様々な取組を展開し、図書館と学校図書館の連携を図ってきました。

その結果、学校における朝の読書の普及やボランティアによる読み聞かせ活動など、子どもの読書活動に関する取組が進みましたが、スマートフォンの普及など情報通信技術（ＩＣＴ）環境の変化による読書離れのほか、子どもたちの図書館利用率の低下など、継続して取組むべき課題が残されています。

このことから、「第4次留萌市子どもの読書活動推進計画」（以下「本計画」という。）の策定にあたっては、第3次計画の目的を継承するとともに、これまでの取組の成果と課題、また、法の理念や国及び北海道の計画を踏まえ、子どもたちの自主的な読書活動を推進できるよう、関係機関と連携し、『いつでも、どこでも読書ができる』環境整備を図ってまいります。

2 基本理念

留萌市のすべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭・地域・学校等の連携を進め、積極的にその環境整備を図ります。

子どもたちが夢と希望を持ち、健やかに育つためには、学校における教育活動の充実はもとより、学校・家庭・地域社会が一体となり、子どもの生活全体を見直し、ゆとりの中で生活体験、社会体験など様々な活動を経験させ、自ら学び自ら考える力や豊かな人間性などの「生きる力」を育むために、それぞれの発達段階に即した環境づくりが求められています。

とりわけ、読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであり、読書活動を通して、生涯にわたり学び続けるという習慣を身に付けることも重要となっています。

一方、子どもたちを取り巻く環境は、スマートフォンの普及や GIGA スクール構想による 1 人 1 台端末の配置など、社会全体の ICT 環境が大きく進むなかで、放課後の時間の使い方のうち、勉強やメディアを利用する時間が多くを占めているなど、子どもたちの読書離れのさらなる進行が危惧される状況であることから、社会全体で子どもの読書活動の一層の推進を図る必要があります。

本計画は、すべての子どもが読書に親しみ、読書習慣を身に付け、読書に喜びを感じることができるよう、『いつでも、どこでも読書ができる環境』を整え、子どもの自主的な読書活動を支えるための条件を積極的に整備することを目標に、これまでの計画を引き継ぎ、施策の総合的・計画的な推進のために策定するものです。

3 計画の期間

令和 4 年度から令和 7 年度までの 4 年間とし、必要に応じて計画の見直しを行います。

また、計画最終年度において推進事業の検証を行い、次期計画の改善等につなげ、計画の効果的な推進に努めます。

4 計画の体系

基本理念に基づき、本計画の体系を次のとおりとします。

推進項目	重点項目
1 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進	(1) 家庭・地域における子どもの読書活動の推進 (2) 学校等における子どもの読書活動の推進
2 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備	(1) 市立留萌図書館の整備・充実 (2) 学校図書館の整備・充実 (3) 子どもの読書活動推進に係る体制の整備

第2章 子どもの読書活動の現況と課題

1 子どもの読書活動の現況

第65回学校読書調査（2019年実施）では、1ヶ月に1冊も本を読まなかった児童・生徒の割合（不読率）は、小学生が6.8%、中学生が12.5%となっており、小学生・中学生ともに概ね横ばいで推移しています。また、1月あたりの平均読書冊数は、小学生が11.3冊、中学生が4.7冊となっており、こちらについても概ね横ばいで推移している状況となっています。

留萌市においては、小学生の不読率が6.6%で全国調査とほぼ同様ですが、中学生が33.6%と全国調査よりもかなり高い不読率となっています。また、1月あたりの読書冊数については、小学生では「1冊から3冊」の割合が43.2%と一番高く、次いで「8冊以上」が30.8%となっている一方で、中学生では一番高い割合が「1冊から3冊」の46.0%、次いで「0冊」の33.6%となっており、全国調査のように平均冊数の調査ではありませんが、市内中学生の読書離れが顕著に表われている結果となっています。

◆1ヶ月に1冊も本を読まなかった児童・生徒の割合（不読率）

		H21	H27	R1
小学生	全国	5.4%	4.8%	6.8%
	留萌市	13.9%	9.9%	6.6%
中学生	全国	13.2%	13.4%	12.5%
	留萌市	55.6%	21.3%	33.6%

（第65回学校読書調査より）

◆1ヶ月の平均読書冊数

		H21	H27	R1
小学生	全国	8.6冊	11.2冊	11.3冊
中学生	全国	3.7冊	4冊	4.7冊

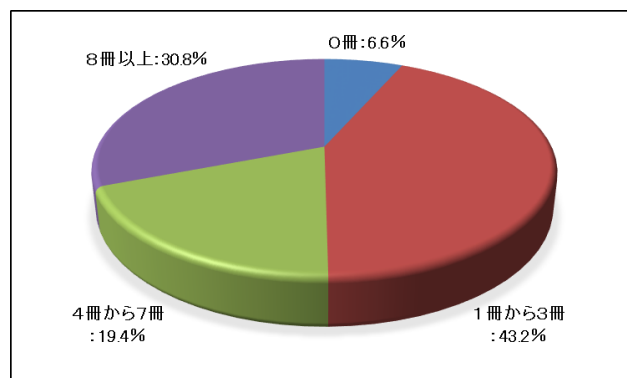
（第65回学校読書調査より）

◆1月あたりの読書冊数（留萌市）

【小3・小6】

項 目	合 計	構成比
0冊	15人	6.6%
1冊から3冊	98人	43.2%
4冊から7冊	44人	19.4%
8冊以上	70人	30.8%
合計	227人	100.0%

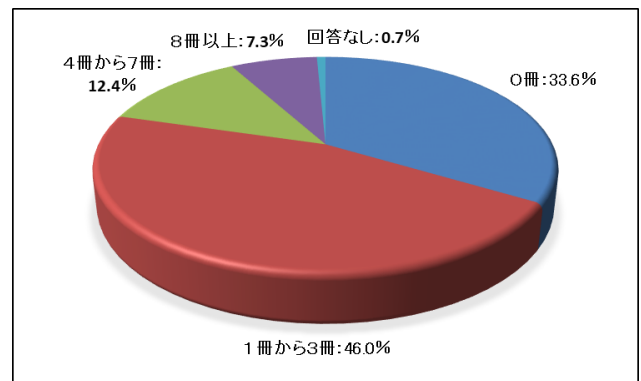
（留萌市子ども読書アンケートより）



【中学 2 年生】

項 目	合 計	構成比
0冊	46 人	33.6%
1冊から3冊	63 人	46.0%
4冊から7冊	17 人	12.4%
8冊以上	10 人	7.3%
回答なし	1 人	0.7%
合計	137 人	100.0%

(留萌市子ども読書アンケートより)



2 「第3次計画」における検証と課題

＜第3次計画の検証＞

第3次計画の体系は、3つの推進項目、6つの重点項目、13の推進方策で構成されており、各推進方策には27の取組項目と33の取組内容が設定されています。第4次計画の策定にあたり、取組内容について所管課による自己評価を行ったところ、「達成」の評価が9項目、「概ね達成」の評価が21項目、「やや未達成」の評価が3項目、「未達成」の評価は0という結果となりました。

また、取組内容の評価結果を踏まえ、推進方策を評価した結果、「**市立留萌図書館の機能の充実**」、「**障がいのある子どもの読書環境の整備・充実**」の2つの推進方策が「やや未達成」となりました。この2つの推進方策については、第4次計画において重点的に取り組むことにより、達成度の向上につなげていきたいと考えています。

＜第3次計画の課題＞

第4次計画の策定にあたり、これまで同様に、市内小学3年生、6年生、中学2年生にアンケートを実施し、児童・生徒の読書活動の状況把握等を行いました。また、新たに、学校図書館や学級文庫、市立図書館の利用状況についての項目を追加し、身近な読書環境についての利用状況を調査しました。

調査の結果、学校図書館や学級文庫の利用については、「よく利用する」「ときどき利用する」の割合の合計が小学3年生では92.3%、小学6年生では75.6%であったのに対し、中学2年生では「よく利用する」「ときどき利用する」の合計が50.0%となっており、「ほとんど利用しない」「全く利用しない」の合計47.8%とほぼ同数となっています。また、毎年実施している学校図書貸出状況調査によると、小学校の貸出冊数は平成28年度よりも増加しているのに対し、中学校の貸出冊数は平成28年度の2,736冊から大きく減少し、令和2年度は955冊と約3分の1の貸出状況となっています。年間一人当たりの読書冊数についても、小学校は増加傾向にあるのに対して、中学校は平成28年度の6.1冊から、令和2年度は2.1冊とこちらも約3分の1となっており、このことから**「中学生までの読書習慣の形成」と「中学生に対する読書習慣の定着」が必要**と考えます。

市立図書館の利用結果についてはさらに深刻で、「ほとんど利用しない」「全く利用しない」の合計が、小学3年生では54.8%、小学6年生では65.8%、中学2年生では63.8%となっており、第3次計画の検証の際に「市立留萌図書館の機能の充実」が未達成となっていることとも一致します。このことから、**子ども達に市立留萌図書館を利用してもらえる**

環境づくりが急務になっていると考えます。

＜第3次計画の検証から判明した必要な取組＞

- ・市立留萌図書館の機能の充実
- ・障がいのある子どもの読書環境の整備・充実

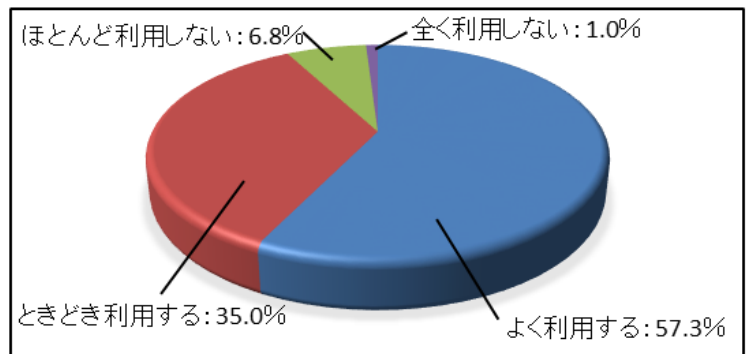
＜第3次計画の課題＞

- ・「中学生までの読書習慣の形成」と「中学生に対する読書習慣の定着」
- ・子ども達に市立留萌図書館を利用してもらえる環境づくり

◆あなたは学校図書館や学級文庫をどのくらい利用しますか？

【小学3年生】

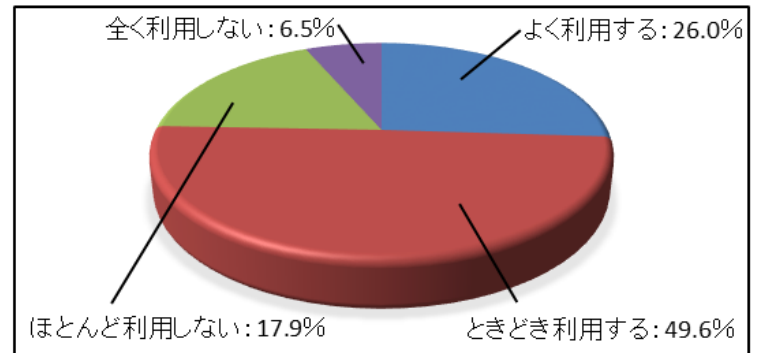
項 目	回答数	構成比
よく利用する	59人	57.3%
ときどき利用する	36人	35.0%
ほとんど利用しない	7人	6.8%
全く利用しない	1人	0.9%
回答なし	0人	0.0%
合計	103人	100.0%



（留萌市子ども読書アンケートより）

【小学6年生】

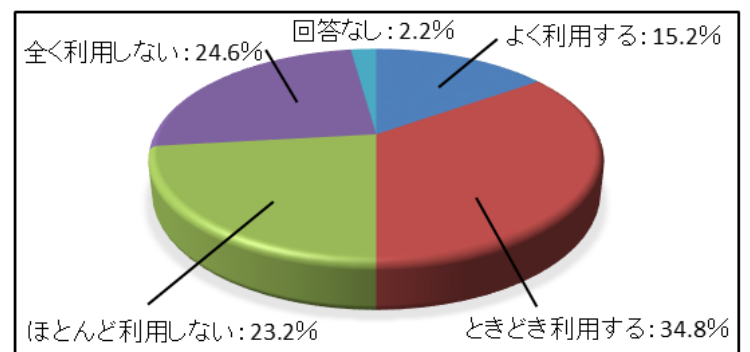
項 目	回答数	構成比
よく利用する	32人	26.0%
ときどき利用する	61人	49.6%
ほとんど利用しない	22人	17.9%
全く利用しない	8人	6.5%
回答なし	0人	0.0%
合計	123人	100.0%



（留萌市子ども読書アンケートより）

【中学2年生】

項 目	回答数	構成比
よく利用する	21人	15.2%
ときどき利用する	48人	34.8%
ほとんど利用しない	32人	23.2%
全く利用しない	34人	24.6%
回答なし	3人	2.2%
合計	138人	100.0%



（留萌市子ども読書アンケートより）

《参考》学校図書貸出状況

●図書貸出冊数（冊）

	H28	H29	H30	R1	R2
小学校	15,820	18,393	20,024	20,113	17,831
中学校	2,736	1,003	778	814	955

●年間一人当たりの読書冊数（学校図書貸出状況調査より）

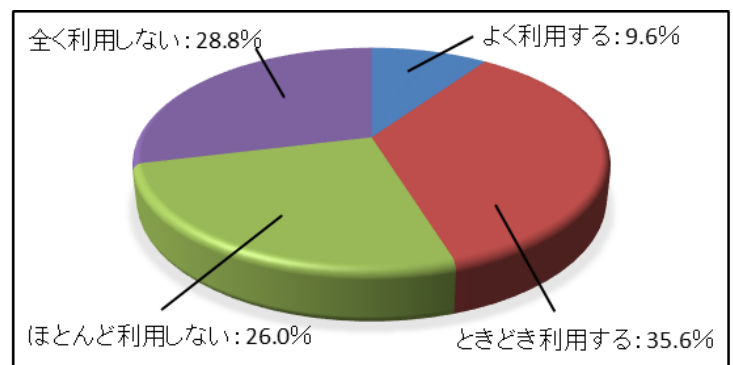
	H28	H29	H30	R1	R2
小学校	17.2	20.8	23.2	24.1	22.6
中学校	6.1	2.3	1.8	1.8	2.1

（学校図書貸出状況調査より）

◆あなたは市立図書館をどのくらい利用しますか？

【小学3年生】

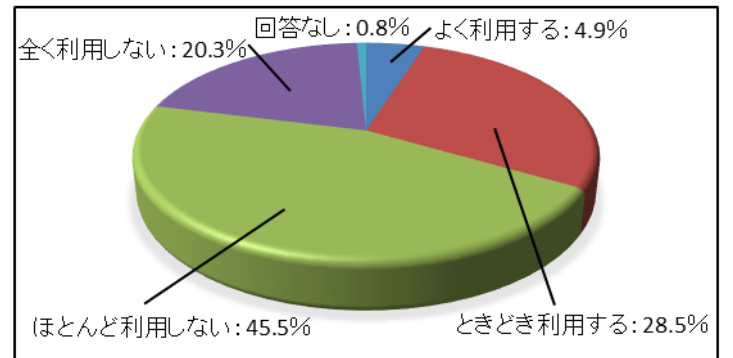
項 目	回答数	構成比
よく利用する	10人	9.6%
ときどき利用する	37人	35.6%
ほとんど利用しない	27人	26.0%
全く利用しない	30人	28.8%
回答なし	0人	0.0%
合計	104人	100.0%



（留萌市子ども読書アンケートより）

【小学6年生】

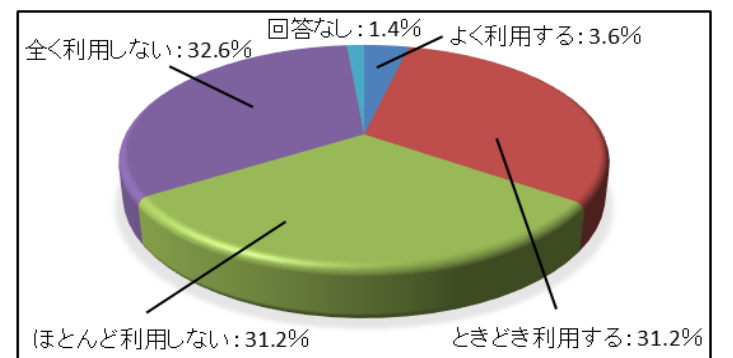
項 目	回答数	構成比
よく利用する	6人	4.9%
ときどき利用する	35人	28.5%
ほとんど利用しない	56人	45.5%
全く利用しない	25人	20.3%
回答なし	1人	0.8%
合計	123人	100.0%



（留萌市子ども読書アンケートより）

【中学2年生】

項 目	回答数	構成比
よく利用する	5人	3.6%
ときどき利用する	43人	31.2%
ほとんど利用しない	43人	31.2%
全く利用しない	45人	32.6%
回答なし	2人	1.4%
合計	138人	100.0%



（留萌市子ども読書アンケートより）

第3章 子どもの読書活動推進の方策

《推進項目1》 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進

重点項目（1） 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

家庭は、子どもが最初に読書と出会う場であるだけではなく、読書に対する興味や関心を培う上でも重要な役割を担っています。

特に、乳幼児期（0歳～6歳）には、読み聞かせ（※①）などを通して、親子の温かい人間関係を育むとともに、子どもの精神的な安定感や親への信頼感を養い、基本的な生活習慣や自主性・創造性を培うことが大切です。

このため、家庭における読書の大切さを啓発するとともに、地域においては市立留萌図書館が中心となって児童センターや民間団体等と連携し、読書の楽しさを知ることができるよう取組を推進する必要があります。

《現状と課題》

留萌市では、9ヵ月児健診の際に実施しているブックスタート事業（※②）や親子に対する読み聞かせ、また、幼児の頃から本への親しみを持ってもらうことを目的に、1歳6ヵ月児と3歳児の健診（各月1回実施）時に絵本を置くなどを実施しているほか、読書ボランティアの活動や市立留萌図書館と児童センターが連携した「児童センター出張おはなし会」を実施するなど、関係機関、関係施設との連携等により、家庭における子どもの読書活動の推進に努めています。

令和3年度に実施した「るもい市子ども読書アンケート」（※③）（以下「子ども読書アンケート」という。）では、「本が好き」又は「どちらかと言えば好き」の割合の合計は、小学3年生が「94.2%」、小学6年生が「79.7%」、中学2年生は「81.0%」という結果であり、全体的に「読書好き」という傾向は見てとれますが、全国的にも学年が上がるにつれて「本好き」の割合が減少する傾向が高いことから、今後においても家庭内における読書の大切さを保護者に伝えることや、学校や学校図書館、市立留萌図書館においては興味を持てる本の選定など、対策が必要となっています。

また、第65回学校読書調査（※④）における「月に0冊」のそれぞれの全国平均は、小学生で「6.8%」、中学生で「12.5%」となっており、留萌市での調査結果では、小学生が「6.6%」とほぼ同数ですが、中学生では「33.6%」と、全国平均を大きく上回る結果となっています。このことから、家庭内等における中学生の読書習慣の定着に向けた取組が重要となっています。

一方、「小さい頃から本をよく読んでもらったことがある子どもは本好きか」について検証したところ、「好き」又は「どちらかと言えば好き」を合わせると「89.1%」という高い割合を示しており、幼い頃の読み聞かせの経験は、子どもたちの読書習慣を形成する上で、有効な動機づけとなることがわかります。

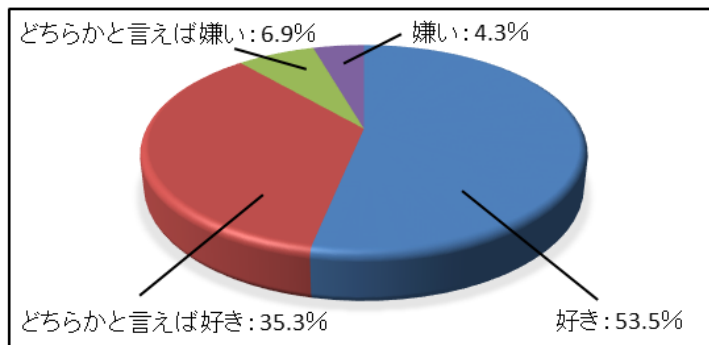
このほか、留萌ブックセンターで実施している「こどもたちによるこどものためのおはなし会」など、地域においても子どもの読書活動の推進に関する取り組みを行っています。

《参考》本をよく読んでもらった子どもは本が好き？

※「本を読んでもらったことがありますか？」との質問に対し、「よく読んでもらった」と回答をした187人を対象に調査

【小3・小6・中2】

項目	合計	構成比
好き	100人	53.5%
どちらかと言えば好き	66人	35.3%
どちらかと言えば嫌い	13人	6.9%
嫌い	8人	4.3%
回答なし	0人	0.0%
合計	187人	100.0%



(留萌市子ども読書アンケートより)

《推進方策・取組項目・取組内容》

◆推進方策：① 家庭における子どもの読書活動の推進

取組項目：ア 初めての本との出会いづくり

乳幼児から親子で本に親しむ習慣をつくるため、9ヵ月児健診に参加した親子に絵本をプレゼントし、読み聞かせの大切さを伝える「ブックスタート事業」は、親子のふれあいを高めるなどの効果も報告されていることから、今後も継続します。

取組内容：ブックスタートによる親子の読書習慣づくり（図書館、保健医療課）

取組項目：イ 家庭における読書活動の推進

少ない時間でもいいから毎日「本」を読み聞かせたり、親子で一緒に市立留萌図書館に行くことや読み聞かせ会に参加することの大切さなど、保護者に対する読書活動への理解の促進に努めます。

取組内容：保護者に対する読書活動への理解の促進（図書館、保健医療課、子育て支援課）

※① 読み聞かせ

子どもたちに、本や絵本などを読んで聞かせること。子どもが物語に親しむきっかけを作り、読書の素地や動機付けを行うことを目的とする。さらに、読み手である保護者や教師、図書館職員やボランティア等が聞き手である子どもとコミュニケーションを図ることにも意義がある。

※② ブックスタート事業

9ヵ月児健診の際に、受診したすべての親子に対して、図書館職員等が本を読むことの大切さや楽しさを保護者に伝えながら、絵本や読み聞かせのアドバイスなどの入ったブックスタート・パックを手渡すもので、留萌市では平成14年6月から実施している。

※③ るもい市子ども読書アンケート

市内の小学生（3年生・6年生）及び中学生（2年生）を対象に、読書活動の状況と傾向を把握するため、令和3年6月に「るもい市子ども読書アンケート」調査を行った。（対象392名に配布、回収364名、回収率92.9%）

※④ 第65回学校読書調査

全国学校図書館協議会が毎日新聞社と共同で、全国の小・中・高校を対象として毎年実施している調査。新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年は調査を実施していないため、本計画では令和元年に実施した第65回調査の数値を引用している。

◆推進方策：推進方策：② 図書館における子どもの読書活動の推進

取組項目：ア 子どもと本を結ぶ各種行事の開催

子どもと本の出会いの場として、読み聞かせやおはなし会を来館機会の多い時期に開催するなど、子どもと本を結ぶ機会の充実に努めます。また、本への興味を引き出せるよう、絵本・紙芝居・わらべ歌などを取り入れるなど、子どものニーズに合わせた行事を開催します。

取組内容：読み聞かせ、おはなし会の充実（図書館）

子どものニーズに合わせた各種行事の開催（図書館）

取組項目：イ レファレンスサービスの充実

子どもの調べ学習や読書活動を的確にサポートするために、子ども読書に関するレファレンスサービス（※⑤）の充実に努めます。

取組内容：レファレンスサービスの向上に向けた職員のスキルアップ（図書館）

取組項目：ウ ボランティアとの連携と活動支援

図書館ボランティアとの連携・協力により、読書活動に関する市民サービスの向上を図るとともに、ボランティア活動グループへの活動の場の提供や情報提供など、支援に努めます。

取組内容：図書館ボランティアとの連携、ボランティアに対する活動支援（図書館）

取組項目：エ 学校単位による図書館利用の受入れ

学校の総合的な学習の時間における活用や調べ学習、職場体験や実習の希望を積極的に受入れ、子どもが図書館を身近に感じ、上手に利用するための機会を提供します。

取組内容：総合的な学習の時間における活用や調べ学習への協力（図書館）

職場体験や実習の受入れ（図書館）

取組項目：オ 団体貸出の推進

学校や児童センター等に対し、読書を楽しむことができるように、貸出本の希望を取りながら団体貸出の推進を図ります。

取組内容：各施設に対する団体貸出の推進（図書館）

※⑤ レファレンスサービス

図書館利用者が、学習・研究・調査等のために必要な資料及び情報を求めた場合に、図書館員が図書館の資料と機能を活用して資料の検索等を援助し、資料を提供し、あるいは回答を与えるなど、利用者と資料を結びつけるサービスのこと。

◆推進方策：③ 児童センター等における子どもの読書活動の推進

取組項目：ア 多様な本と出会う機会の確保

絵本などの充実や市立留萌図書館の貸出文庫の利用を図り、子どもたちが本に接する機会を増やすとともに、平成27年度から開始した「出張おはなし会」が好評を得ていることから継続し、子どもたちに読み聞かせ等を通して、日常的に本の楽しさが伝わるよう努めます。

取組内容：絵本の充実や貸し出し文庫の利用促進（図書館、子育て支援課）
読み聞かせ等を通じた読書活動の啓発（図書館、子育て支援課）

◆推進方策：④ 「子ども読書の日」等の啓発広報

取組項目：ア 子どもの読書活動に関する理解の促進

「子ども読書の日」（※⑥）や「こどもの読書週間」における啓発事業の実施や行事情報の提供を行い、子どもの読書活動に関する市民理解の促進を図ります。

取組内容：啓発事業の実施と行事情報の提供（図書館）

取組項目：イ 各種情報の収集・提供

地域、学校、民間団体等における子どもの読書活動に関わる情報の収集を図るとともに、市の広報誌やホームページによる情報発信、図書館内掲示や図書館だよりの活用、新聞社や放送局への情報提供等、様々な機会を活用して市民に広く情報を発信していきます。

取組内容：読書活動に係る情報収集・情報発信（図書館）

※第3次計画では『「子どもの読書活動に関する理解と関心の普及」（1）啓発広報事業の推進』を推進項目として設定していたが、北海道の計画同様に「家庭・地域・学校等を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進」に統合

※⑥ 子ども読書の日

「子どもの読書活動の推進に関する法律」が平成13年に施行され、毎年4月23日を「子ども読書の日」とすることが定められた。国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために設けられた。

また、社団法人読書推進運動協議会（文部科学省所管）が、毎年4月23日から5月12日までを「こどもの読書週間」と定めて、子どもの読書活動の普及・啓発を図っている。

◆担当課等における取組方針

推進方策	取組項目	担当課等	取組方針
①家庭における子どもの読書活動の推進	初めての本との出会いづくり	図書館	・9ヵ月健診時に親子1組ずつに読み聞かせを行い、家庭での読み聞かせアドバイスなどを行います。
		保健医療課	・9ヵ月児健診時において、ブックスタート事業を図書館と一緒に取り組みます。
	家庭における読書活動の推進	図書館	・ブックスタート時に「おすすめ本リスト」等の配布や図書館利用の促進を行います。
		保健医療課	・1歳6ヵ月児と3歳児健診（各月1回実施）において、移動図書館の形で幼児の絵本を置き、幼児の頃から本への親しみをもてるよう図書館と一緒に取り組みます。
		子育て支援課	・子育て支援センター及び各児童センターにおいて、絵本や幼児・児童向け図書を常備し、読書活動を促進します。
②図書館における子どもの読書活動の推進	子どもと本を結ぶ各種行事の開催	図書館	・乳幼児向けの「おはなし玉手箱」を実施し、読み聞かせ、おはなし会の充実を図ります。 ・4月の子どもの読書週間中と12月のクリスマスに特別おはなし会、8月に「図書館まつり」を開催します。
	レファレンスサービスの充実	図書館	・職員間での情報の共有化を進めるとともに、利用者の要望に応えられるよう職員のスキルアップを図ります。
	ボランティアとの連携と活動支援	図書館	・図書館ボランティアと連携した事業を継続して実施する。また、ボランティアの減少、高齢化が進んでいることから、新たにボランティアとして参加してもらえるような働きかけを行います。 ・今後も継続してボランティアとの連携による事業を推進するとともに、活動拠点の提供を行います。
	学校単位による図書館利用の受け入れ	図書館	・調べ学習の協力などについて、継続して対応します。 ・児童、生徒の職場体験の受け入れについて、継続して対応します。
	団体貸出の推進	図書館	・「萌っ子文庫」のほか、学校（学級）単位の貸出について、継続して実施します。
③ 児童センター等における子どもの読書活動の推進	多様な本と出会う機会の確保	図書館	・子育て支援センター、児童センターへの入れ替え貸出について、継続して実施し、本に触れる機会の提供に努めます。 ・児童センターでの出張おはなし会を継続して実施し、読み聞かせの機会の提供に努めます。
		子育て支援課	・図書館の団体貸出図書を継続して活用し、定期的に図書を入れ替えることで、図書の充実に努めます。 ・図書館と連携し、児童センター等での絵本の読み聞かせを継続して実施します。
④ 「子ども読書の日」等の啓発広報	子どもの読書活動に関する理解の促進	図書館	・啓発ポスターを掲示するほか、子ども読書習慣に合わせ、特別お話し会や本の展示を実施します。
	各種情報の収集・提供	図書館	・図書館だよりやフェイスブックに新刊本を掲載するほか、ブックスタートで配布する「おすすめ本リスト」を更新します。

重点項目（２） 学校等における子どもの読書活動の推進

学校等における読書活動は、子どもが読書習慣を身に付けるために大きな役割を果たすとともに、確かな学力の基盤を形成する上で重要な役割を担っています。

また、幼児期や小学校期における良質な本との出会いは、読書に対する興味・関心を広げるものであり、中学校・高校期における読書は、自我の確立に大きな影響を与えるものと言われています。

このため、学校等においては、子どもの発達段階に応じて読書の楽しさを指導するとともに、計画的・継続的な読書活動を推進する必要があります。

《現状と課題》

市内の学校においては、これまで、様々な教育活動を通して読書活動の推進が図られてきました。

各校では、読書の習慣づけと本との楽しい出会いをつくるため、「朝の読書」（※⑥）や「教師やボランティアによる読み聞かせ」、「図書館まつり」など、それぞれの特色を生かした読書活動に取り組んでおり、過去5年間をみると学校図書館ボランティア実施校やボランティア数、全校一斉読書活動の取組が着実に推進され、定着してきていることがわかります。

しかしながら、「子ども読書アンケート」では、「ひと月にほとんど本を読まない子ども（＝不読率）」は、小学3年生で「6.7%」、小学6年生では「6.5%」とほぼ同数なのに対し、中学2年生では「33.6%」と約5倍の数値となっており、中学生の読書離れの傾向が表れていることから、「中学生までの読書習慣の形成」と「中学生に対する読書習慣の定着」が課題となっています。

《参考》留萌市学校図書館ボランティア数の推移

項 目	H28	H29	H30	R1	R2
実施学校数	7校	7校	7校	7校	7校
ボランティア数	52人	52人	57人	54人	55人

※北光中学校には、学校図書館ボランティアは組織されていなかった。

※平成30年度より北光中学校が港南中学校へ統合

《参考》全校一斉読書活動の推移

項 目	H28	H29	H30	R1	R2
全校一斉読書 実 施 校	8校／ 8校中	8校／ 8校中	7校／ 7校中	7校／ 7校中	7校／ 7校中

※平成30年度より北光中学校が港南中学校へ統合

※⑥ 朝の読書

始業前に10分間程度、児童生徒・教職員全員がそれぞれ自分で選んだ読みたい本を読むこと。子どものたちの「自ら学ぶ力」を育てるために行われる活動であり、原則は①みんなでやる ②毎日やる ③好きな本で良い ④ただ読むだけ の4つである。

《推進方策・取組項目・取組内容》

◆推進方策：① 読書習慣の確立と読書指導の充実

取組項目：ア 読書習慣の確立

子どもの読書習慣を確立させるため、「朝の読書」や「本に親しむ週間」の設定など全校一斉読書活動の継続、充実に努めます。

取組内容：「朝の読書」など全校一斉読書活動の実施（学校教育課）

取組項目：イ 自主的読書活動の支援

図書委員等による読み聞かせや読書行事の開催、また、アンケートで読みたい本の希望を取り、選書に反映させるなど、児童・生徒のアイディアを生かした自主的・実践的な活動を支援し、子どもの読書活動の充実に努めます。

取組内容：児童生徒のアイディアを生かした自主的・実践的な活動の支援（学校教育課）

取組項目：ウ 学校図書館を活用した指導の充実

学校図書館の機能と利用の方法、図書の分類と配列、学習参考図書の利用方法など、子どもが理解を深めるように努めるとともに、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等において学校図書館を計画的に利用し、子どもの主体的・意欲的な読書活動や学習活動の充実に努めるため、図書の計画的整備に努めます。

取組内容：学校図書館機能の理解と計画的利用（学校教育課）

◆推進方策：② 家庭・地域との連携による読書活動の推進

取組項目：ア PTAや地域ボランティアとの連携

PTAや地域のボランティアとの連携により、家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進に努めます。

また、地域ボランティアの資質の向上に資するため、市立留萌図書館と連携した研修会の開催に努めます。

取組内容：PTA等との連携による読書活動の推進（学校教育課）

◆推進方策：③ 幼稚園や保育園における読書活動の推進

取組項目：ア 多様な本と出会う機会の確保

市立留萌図書館からの団体貸出についてニーズを把握しながら継続するなど、子どもたちが本に接する機会を増やすとともに、子どもたちに読み聞かせ等を通して、日常的に本の楽しさが伝わるよう努めます。

取組内容：絵本の充実や貸し出し文庫の利用促進（図書館、子育て支援課）

読み聞かせ等を通じた読書活動の啓発（図書館、子育て支援課）

◆担当課等における取組方針

推進方策	取組項目	担当課等	取組方針
①読書習慣の確立と読書指導の充実	読書習慣の確立	学校教育課	・全校で朝読書を実施し、読書の習慣化を促進するほか、本に親しむ週間の設定や読み聞かせを実施します。
	自主的読書活動の支援	学校教育課	・子どもたちの希望を選書に反映させるなど、児童生徒の様々なアイデアを生かした活動の支援に取り組みます。
	学校図書館を活用した指導の充実	学校教育課	・年間を通した利活用計画や授業等で活用できる図書の計画的な整備に努めます。
②家庭・地域との連携による読書活動の推進	PTA や地域ボランティアとの連携	学校教育課	・保護者への啓発活動を継続して実施し、家庭と連携した読書活動を推進する。また、市立図書館と連携して学校図書館ボランティアを対象とした研修会の開催に努めます。 ・ボランティアの減少、高齢化が進んでいることから、新たにボランティアとして参加してもらえるような働きかけを行います。
③幼稚園や保育園における読書活動の推進	多様な本と出会う機会の確保	図書館	・申し出のあった施設に対しての貸出を継続しながら、貸出本に対するニーズ把握に努めます。 ・幼稚園や保育園による施設見学の際などに読み聞かせを行うことで、未就学児における読書活動の啓発に努めます。
		子育て支援課	・各児童センターに設置している図書室などを通して、子どもたちが本に触れる機会を増やし、本の楽しさが伝わるよう努めます。 ・幼稚園や保育園に対して、直接の事業展開ができないことから、本に触れる機会を確保するよう当該法人等に働きかけを行います。

重点項目（1） 市立留萌図書館の整備・充実

市立留萌図書館は、子どもたちが学校外で本との出会いや読書を楽しむことができる中心的な場であり、子どもの読書活動の推進に大きな役割を果たしているため、様々な立場や環境にある子どもが利用できるように、多様な資料の収集に努める必要があります。

また、学校、保育園等における子どもの読書活動を支援するため、各施設と連携し、図書館資料やサービスの活用を促進するとともに、民間団体・ボランティアと協力し、子どもの読書活動の一層の充実を図る必要があります。

《現状と課題》

平成21年4月からNPO法人留萌スポーツ協会が、市立留萌図書館の指定管理者（※⑦）として、施設の管理運営業務を開始しました。以来、市民サービスの向上を図るために、定期的に市民アンケートを行い、その中で要望が多かった「休日開館」を実現したほか、中央公民館内に「図書館の分館」（※⑧）を開設して、本館と同様の貸し出しシステムを導入するなど、市民の声を運営に取り入れた、柔軟で迅速な対応を行っています。

しかし、人口減少など、社会情勢の変化による、貸出冊数や利用者数の減少傾向や、図書館へのニーズの多様化に対応するため、職員の資質向上や図書館施設の整備充実を図るとともに、関係機関や関係団体等と緊密に連携し、市全体の子どもの読書活動をより活発化していくための計画推進が課題となっています。

《参考》市立留萌図書館貸出冊数の推移

項 目	H28	H29	H30	R1	R2
貸出冊数	102,789 冊	84,941 冊	79,679 冊	74,617 冊	59,014 冊

（令和3年度「図書館要覧」より）

《参考》市立留萌図書館貸出利用者の推移（令和3年度「図書館要覧」より）

項 目	H28	H29	H30	R1	R2
利用者数	21,903 人	20,119 人	19,358 人	18,262 人	13,769 人

（令和3年度「図書館要覧」より）

※⑦ 指定管理者

従来、公の施設の管理委託は民間事業者にはできなかったが、平成15年の地方自治法の改正により、民間においても管理運営が可能となった。市立留萌図書館においては、平成21年4月に指定管理者制度を導入した。当該制度の導入により、質の良いサービスの提供や低廉性の確保が期待される。

※⑧ 図書館の分館

市立留萌図書館の指定管理者による新たな市民サービスの一つであり、留萌市中央公民館事務室の空きスペースを「見晴分館」として、平成21年10月にオープンした。

蔵書数は約4,000冊で、本館と同様の貸出システムの導入により、本館にあるすべての図書の予約・受取・返本も可能となっている。休館日は、12月31日から1月5日までで、利用時間は午前9時から午後9時（日曜日は午後6時）。

＜推進方策・取組項目・取組内容＞

◆推進方策：① 市立留萌図書館の機能の充実（重点取組）

取組項目：ア 図書・資料の充実

乳幼児から青少年までの読書活動を推進するため、各年代の興味・関心や学習意欲を高める図書資料の収集・提供に努めるとともに、調べ学習に役立つ図書・資料の充実を図ります。

取組内容：年代別に留意した図書・資料の充実（図書館）

「総合学習」、「調べ学習」のための図書・資料の充実（図書館）

取組項目：イ 施設の整備

分かりやすい館内表示を工夫するなど、利用者ニーズを把握しながら子どもや保護者が利用しやすい環境整備を目指します。

取組内容：親しみやすく、利用しやすい図書館整備（図書館）

取組項目：ウ インターネットを活用した情報の発信

図書館ホームページの充実を図るとともに、インターネットでの蔵書公開・図書予約を継続するなど、子どもと本を結ぶ情報の提供とサービスの向上に努めます。

取組内容：ホームページの充実とインターネットによる予約サービスなどの情報提供の充実（図書館）

取組項目：エ 他図書館とのネットワークの充実

市立留萌図書館に所蔵していない図書等を、利用者の求めに応じて道立図書館等から借用するなど、ネットワーク化による市民サービスの向上に努めます。

取組内容：道立図書館等との連携による市民サービス向上（図書館）

◆推進方策：② 障がいのある子どもの読書環境の整備・充実（重点取組）

取組項目：ア 布の絵本、大活字本、点訳本、録音資料などの収集、充実

障がいのある子どもが楽しめる資料の収集、充実を図ります。

取組内容：障がいのある子供が楽しめる資料の収集、充実（図書館）

取組項目：イ 障がいのある子どもが通う施設との連携・協力

障がいの程度に応じた読書活動を進めるために、関係施設への団体貸出等を継続するなど、連携・協力体制の一層の向上に努めます。

取組内容：関係施設との連携・協力体制の向上（図書館）

◆担当課等における取組方針

推進方策	取組項目	担当課等	取組方針
①市立留萌図書館の機能の充実	図書・資料の充実	図書館	・予算の範囲内で図書資料の充実に努めながら、分類ごとに購入冊数を管理し、年度で集計のうえ、次年度に反映させます。 ・予算の範囲内で「調べ学習」に役立つ図書資料の充実に努めます。
	施設の整備	図書館	・授乳スペースの検討など、利用者ニーズを把握しながら、利用しやすい図書館整備に努めます。
	インターネットを活用した情報の発信	図書館	・図書システムからの蔵書検索、行事のお知らせや予約サービスなどについて、システムメーカーと相談しながらサービス提供に努めます。
	他図書館とのネットワークの充実	図書館	・図書館間相互貸借による利用者の希望する本の取り寄せなど、道立図書館等との連携を継続し、利用者の要望に应运いていきます。
②障がいのある子どもの読書環境の整備・充実	布の絵本、大活字本、点訳本、録音資料などの収集、充実	図書館	・予算の範囲内で図書資料の充実に努めるとともに、寄贈等の機会を利用したの収集に努めます。
	障がいのある子どもが通う施設との連携・協力	図書館	・施設の実態やニーズの把握を行いながら、協力体制が図られるよう努めます。

重点項目（２） 学校図書館の整備・充実

学校図書館は、子どもたちが日常的に読書を楽しむ場であるとともに、読書活動や読書指導の場として、子どもたちの豊かな心を育み、自発的・主体的な学習活動を支援するという重要な役割を担っています。

このため、学校図書館においては、図書資料の整備・充実など、児童生徒の読書活動のセンター的な役割を果たすことが求められています。

《現状と課題》

学校図書館における過去5年間の図書貸出数を見ると、小学生の年間一人当たりの貸出数が増加しつつある半面、中学生の貸出数は大きく減少しており、学齢期が上がるに従い活字離れの傾向が引き続き見られます。そのため、蔵書の質や量を向上させるなど魅力ある学校図書館の整備を行うとともに、読書の動機付けを継続するなど、読書活動の支援を行うことが必要です。

また、現在12学級以上の学校に学校図書館司書教諭（※◎）が置かれていますが、その役割を十分果たせるよう、教職員の協力体制の維持に努めるとともに、学校図書館ボランティアや市立留萌図書館等との連携・協力を積極的に促進することが必要です。

※◎ 司書教諭

学校図書館法の改正により、平成15年4月1日から全国の12学級以上のすべての学校に司書教諭を置くことが義務付けられた。司書教諭になるには、前提として教員免許が必要。

《参考》市内小中学生の「学校図書館」の年間一人当たりの貸出数の推移

項 目	H28	H29	H30	R1	R2
小学生	17.2 冊	20.8 冊	23.2 冊	24.1 冊	22.6 冊
中学生	6.1 冊	2.3 冊	1.8 冊	1.8 冊	2.1 冊

(学校図書貸出状況調査より)

《推進方策・取組項目・取組内容》

◆推進方策：① 学校図書館の図書資料・設備等の整備・充実

取組項目：**ア 学校図書館図書標準（※⑩）に基づく整備**

子どもが読書に親しめるように、各学校における学校図書館図書標準の達成に加え、適切な図書更新に努めます。

取組内容：適切な予算確保による図書の充実（学校教育課）

◆推進方策：② 学校図書館の活用を図るための人的体制の整備

取組項目：**ア 司書教諭の配置と教職員の協力**

教育活動を通じて子どもの読書活動の充実を図り、読書習慣を身に付けさせることは、学校の重要な役割であるため、12学級以上の学校には司書教諭を引き続き配置し、教職員や学校図書館ボランティアが協力して読書活動を進めることができる体制づくりや資質を高めるための研修機会の提供に努めます。

取組内容：司書教諭等の研修機会の実施と人員の確保（学校教育課）

◆担当課等における取組方針

推進方策	取組項目	担当課等	取組方針
①学校図書館の図書資料・設備等の整備・充実	学校図書館図書標準に基づく整備	学校教育課	・適切な予算を確保し、図書の充実を図ります。
②学校図書館の活用を図るための人的体制の整備	司書教諭の配置と教職員の協力	学校教育課	・司書教諭や担当教諭の研修機会の実施と、担当教員の人数確保などを働きかけます。

※⑩ 学校図書館図書標準

公立義務教育諸学校における学校図書館に整備すべき蔵書の標準として、平成5年に文部省（当時）が定めたもので、学校種、学級数に応じて蔵書冊数が設定されている。

重点項目（３） 子どもの読書活動推進に係る体制の整備

子どもの読書活動推進のためには、読書に関わる関係機関や団体等から幅広い意見をいただき、相互に連携・協力できる体制で取り組むことが重要です。

そのため、市が中心となり、社会全体で子どもの読書活動を推進するとともに、市民の多様な意見の反映に努めます。

《現状と課題》

留萌市においては、読み聞かせなどの読書ボランティアの育成や支援体制づくりに努めてきましたが、計画の推進にあたっては、社会全体の取組が不可欠であるため、市立留萌図書館や学校図書館などの関係機関やボランティア団体等との連携・協力体制を強化し、幅広い読書普及活動を展開することが必要です。

《推進方策・取組項目・取組内容》

◆推進方策：① 市民団体・関係機関との連携・協力の促進

取組項目：ア 市民団体との連携・協力

読書活動に携わるグループ・サークルなど市民団体との連携・協力を進め、地域の読書活動を推進します。

取組内容：読書活動に関わるグループ・サークル等との連携協力

（図書館、子育て支援課、学校教育課）

取組項目：イ 幼稚園・保育園・児童センター等との連携・協力

幼稚園等との読書活動の協力や情報提供等により、子どもたちがより多くの本と出会えるよう各施設と連携・協力を図るとともに、読書活動推進のためのPRに努めます。

取組内容：幼稚園等との連携・協力と読書活動推進PR（図書館、子育て支援課）

取組項目：ウ 市立留萌図書館・学校図書館関係職員との連携・協力

三省堂書店と連携した「本のブックフェア（本の見本市）」をとおした選書の協力など、学校図書館の活性化に向けて一層の連携・協力体制の向上に努めます。

取組内容：図書館関係職員等の情報交換による連携・協力（図書館、学校教育課）

◆推進方策：② 図書館職員の研修の充実

取組項目：ア 図書館職員の研修の充実

図書館職員の能力と技術の向上を図るために、研修の充実に努めます。

取組内容：図書館職員の能力と技術の向上を図るための研修の充実（図書館）

◆担当課等における取組方針

推進方策	取組項目	担当課等	取組方針
① 市民団体・関係機関との連携・協力の促進	市民団体との連携・協力	図書館	・「三省堂書店を応援し隊」と連携し、図書館行事、三省堂書店のイベントで相互協力していることから、今後も市民団体等と協力、連携した取組を進めます。
		子育て支援課	・団体貸出図書の入替えなどについて地域の子育てボランティア団体や母親クラブと連携・協力して実施していることから、今後も、子育てボランティア等と連携・協力し読書環境の整備に努めます。
		学校教育課	・学校図書館ボランティアにより、本の読み聞かせや貸出業務、書架の整理、図書館のディスプレイの工夫などの環境整備を行っていただいている。今後も学校図書館ボランティア等市民団体等と協力、連携した取組を進める。 ・ボランティアの減少、高齢化が進んでいることから、新たにボランティアとして参加してもらえるような働きかけを行う。
	幼稚園・保育園・児童センター等との連携・協力	図書館	・毎年、施設見学と団体貸出を実施しているほか、各施設に図書館だより、イベント告知物を配布しています。今後も施設見学や団体貸出を通して、本に親しむ機会の提供を図るとともに、読書活動推進のためのPRを進めていきます。
		子育て支援課	・各児童センターに図書室を設けているほか、保育所及び幼稚園においても各運営法人の事業として本の貸し出し等を行っています。今後も引き続き、本に触れる機会を増やし、読書活動のPRを行っています。
	市立留萌図書館・学校図書館関係職員との連携・協力	図書館	・年2回、学校図書館向けに「本のブックフェア（本の見本市）」を三省堂書店と連携し開催。選書に苦慮している先生方に役立ててもらっているので、今後も継続して実施することで、学校図書館との連携・協力を図ります。
		学校教育課	・市立図書館と連携し、長期貸出サービス（学級文庫）などを活用している。今後も、図書館司書の助言や研修を活かし、選書や学校図書館活性化の取り組みの推進を図ります。
②図書館職員の研修の充実	図書館職員の研修の充実	図書館	・道立図書館、道内で実施される研修会に参加することで、能力と技術の向上に努めます。

第4章 留萌市子どもの読書活動推進計画事業一覧

＜推進項目1＞ 家庭・地域・学校における子どもの読書活動の推進



◎重点項目（1） 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

推進方策・取組項目	取組内容	担当課等
① 家庭における子どもの読書活動の推進		
ア 初めての本との出会いづくり	・ブックスタートによる親子の読書習慣づくり	図書館、保健医療課
イ 家庭における読書活動の推進	・保護者に対する読書活動への理解の促進	図書館、保健医療課、子育て支援課
② 図書館における子どもの読書活動の推進		
ア 子どもと本を結ぶ各種行事の開催	・読み聞かせ、おはなし会の充実	図書館
	・子どものニーズに合わせた各種行事の開催	図書館
イ レファレンスサービスの充実	・レファレンスサービスの充実	図書館
ウ ボランティアとの連携と活動支援	・図書館ボランティアとの連携	図書館
	・ボランティアに対する活動支援	図書館
エ 学校単位による図書館利用の受入れ	・総合的な学習の時間における活用や調べ学習への協力	図書館
	・職場体験や実習の受入れ	図書館
オ 団体貸出の推進	・各施設に対する団体貸出の推進	図書館
③ 児童センター等における子どもの読書活動の推進		
ア 多様な本と出会う機会の確保	・絵本の充実や貸出文庫の利用促進	図書館 子育て支援課
	・読み聞かせ等を通じた読書活動の啓発	図書館 子育て支援課
④ 「子ども読書の日」等の啓発広報		
ア 子どもの読書活動に関する理解の促進	・「こどもの読書週間」に合わせたおはなし会の実施	図書館
イ 各種情報の収集・提供	・子どもの読書活動に関わる情報の収集、ホームページ等による情報発信	図書館

◎重点項目（2） 学校等における子どもの読書活動の推進

推進方策・取組項目	取組内容	担当課等
① 読書習慣の確立と読書指導の充実		
ア 読書習慣の確立	・「朝の読書」など全校一斉読書活動の実施	学校教育課
イ 自主的読書活動の支援	・児童生徒のアイデアを生かした自主的・実践的な活動の支援	学校教育課
ウ 学校図書館を活用した指導の充実	・学校図書館機能の理解と計画的利用	学校教育課
② 家庭・地域との連携による読書活動の推進		
ア PTAや地域ボランティアとの連携	・PTA等との連携による読書活動の推進	学校教育課
③ 幼稚園や保育園における読書活動の推進		
ア 多様な本と出会う機会の確保	・絵本の充実や貸出文庫の利用促進	図書館 子育て支援課
	・読み聞かせ等を通じた読書活動の啓発	図書館

<<推進項目2>> 子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備

◎重点項目(1) 市立留萌図書館の整備・充実

推進方策・取組項目	取組内容	担当課等
① 市立留萌図書館の機能の充実		
ア 図書・資料の充実	・年代別に留意した図書・資料の充実	図書館
	・「総合学習」、「調べ学習」のための図書・資料の充実	図書館
イ 施設の整備	・親しみやすく、利用しやすい図書館整備	図書館
ウ インターネットを活用した情報の発信	・ホームページの充実とインターネットによる予約サービスなどの情報提供の充実	図書館
エ 他図書館とのネットワークの充実	・道立図書館等との連携による市民サービス向上	図書館
② 障がいのある子どもの読書環境の整備・充実		
ア 布の絵本、大活字本、点訳本、録音資料などの収集、充実	・障がいのある子どもが楽しめる資料の収集、充実	図書館
イ 障がいのある子どもが通う施設との連携・協力	・関係施設への団体貸出等による連携・協力	図書館

◎重点項目(2) 学校図書館の整備・充実

推進方策・取組項目	取組内容	担当課等
① 学校図書館の図書資料・設備等の整備・充実		
ア 学校図書館図書標準に基づく整備	・学校図書館図書標準に基づく蔵書整備の推進	学校教育課
② 学校図書館の活用を図るための人的体制の整備		
ア 司書教諭の配置と教職員の協力	・司書教諭設置基準(12学級以上)による司書配置と教職員の協力による読書活動の推進	学校教育課

◎重点項目(3) 子どもの読書活動推進に係る体制の整備

推進方策・取組項目	取組内容	担当課等
① 市民団体・関係機関との連携・協力の促進		
ア 市民団体との連携・協力	・読書活動に携わるグループ・サークル等との連携協力	図書館、子育て支援課、学校教育課
イ 幼稚園・保育園・児童センター等との連携・協力	・幼稚園等との連携・協力と読書活動推進PR	図書館、子育て支援課
ウ 市立留萌図書館・学校図書館関係職員との連携・協力	・「本のブックフェア(本の見本市)」を通じた連携・協力	図書館、学校教育課
② 図書館職員の研修の充実		
ア 図書館職員の研修の充実	・図書館職員の能力と技術の向上を図るための研修の充実	図書館

※「教育委員会生涯学習課」は、すべての留萌市子どもの読書活動推進計画事業と連携しているため、「所管部署」からは除いています。

《資料１》 子どもの読書活動の推進に関する法律

平成13年12月12日

法律第154号

（目的）

第1条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

（基本理念）

第2条 子ども（おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（国の責務）

第3条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第4条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（事業者の努力）

第5条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

（保護者の役割）

第6条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

（関係機関等との連携強化）

第7条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

（子ども読書活動推進基本計画）

第8条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、4月23日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。



《資料2》 「令和3年度留萌市子どもの読書アンケート」実施結果 (小3・小6・中2)

【調査期間：令和3年6月10日～24日】

1 調査対象者の属性及び回収率 (小数点以下2位四捨五入)

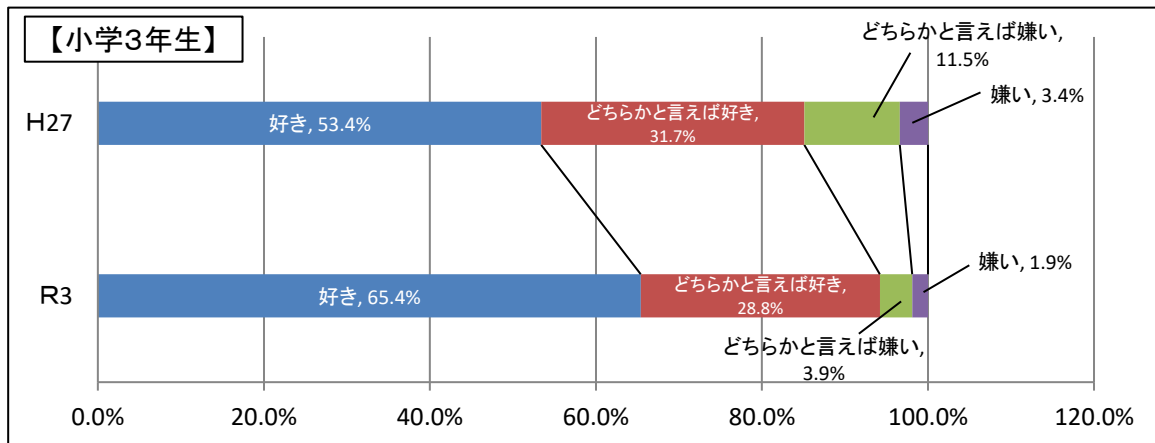
調査対象	項目	調査表配布数	回収数	今回回収率	前回回収率
小学校3年生		117人	104人	88.9%	98.0%
小学校6年生		125人	123人	98.4%	96.9%
中学校2年生		150人	137人	91.3%	97.5%

《留意事項》平成27年に「るもい市子ども読書アンケート調査」を実施した時と同様の調査対象で実施した。
なお、傾向を把握するため前回調査数値と比較している。

2 あなたは、本を読むのは好きですか？

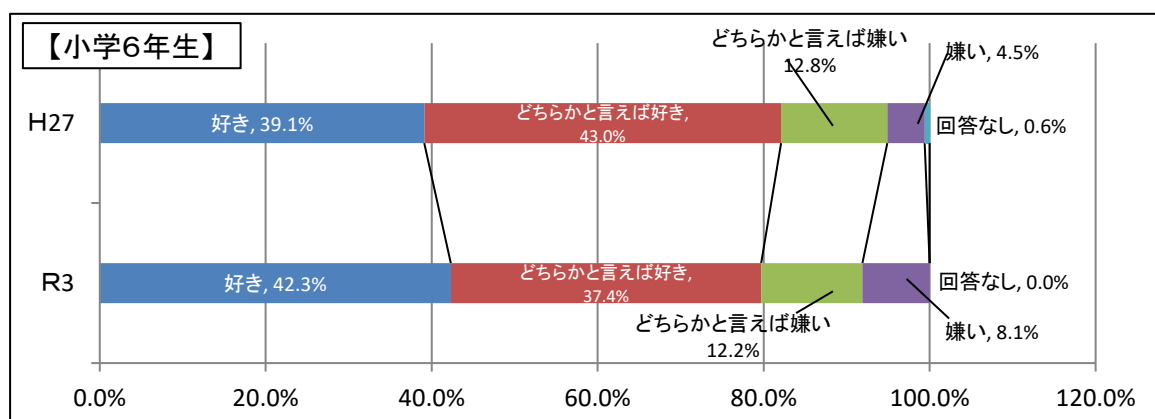
【小学校3年生】

項目	回答数	今回構成比	前回構成比
好き	68人	65.4%	53.4%
どちらかと言えば好き	30人	28.8%	31.7%
どちらかと言えば嫌い	4人	3.9%	11.5%
嫌い	2人	1.9%	3.4%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	104人	100.0%	100.0%



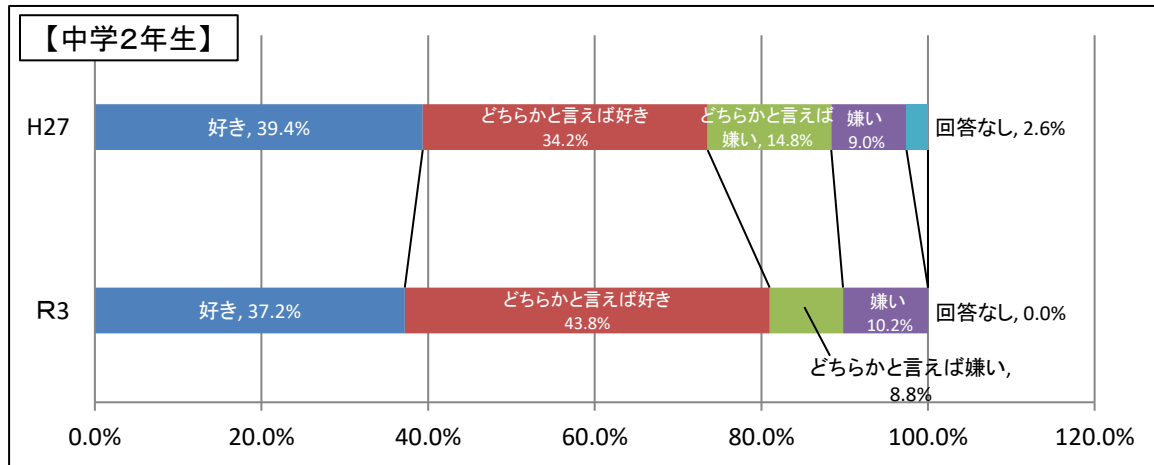
【小学校6年生】

項目	回答数	今回構成比	前回構成比
好き	52人	42.3%	39.1%
どちらかと言えば好き	46人	37.4%	43.0%
どちらかと言えば嫌い	15人	12.2%	12.8%
嫌い	10人	8.1%	4.5%
回答なし	0人	0.0%	0.6%
合計	123人	100.0%	100.0%



【中学校2年生】

項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
好き	51人	37.2%	39.4%
どちらかと言えば好き	60人	43.8%	34.2%
どちらかと言えば嫌い	12人	8.8%	14.8%
嫌い	14人	10.2%	9.0%
回答なし	0人	0.0%	2.6%
合計	137人	100.0%	100.0%



■『本を読むことが好きか』との設問には、「好き」と答えた子どもは、小学3年生では「65.4%」、小学6年生では「42.3%」、中学2年生では「37.2%」と小学生では増加傾向、中学生では減少傾向となっており、過半数を超えたのは小学3年生のみとなった。

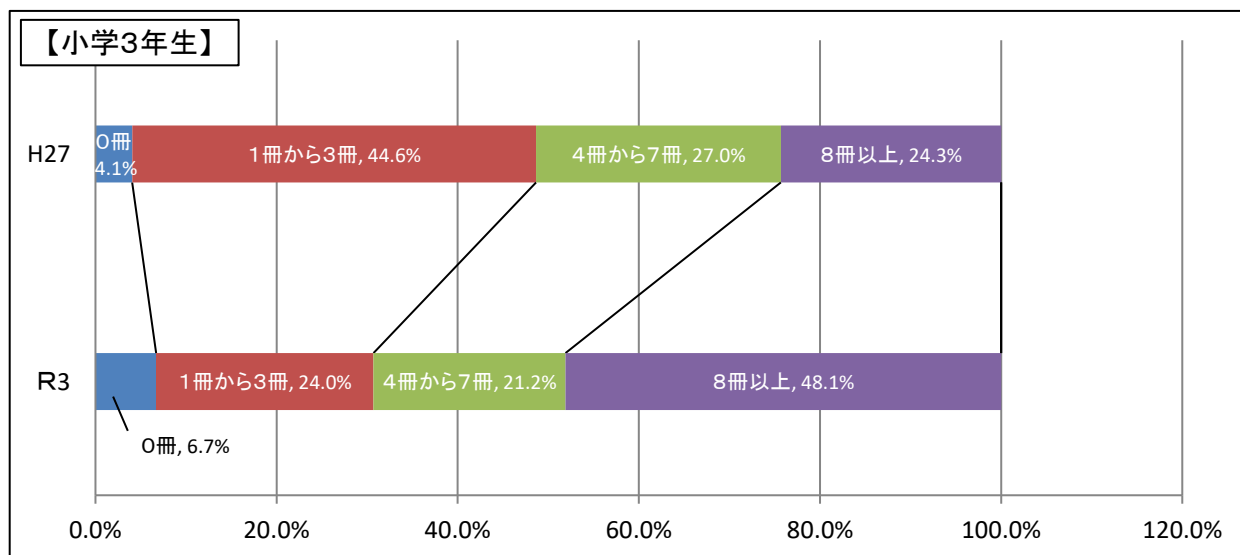
■「好き」と「どちらかと言えば好き」を合わせた割合は、小学3年生では「94.2%」、小学6年生では「79.7%」、中学2年生では「81.0%」と、小学6年生以外は減少傾向にあるものの、全体的に「読書」が好きという傾向が見てとれる。

■反対に、「どちらかと言えば嫌い」と「嫌い」を合わせた割合は、小学3年生では「5.8%」、小学6年生では「20.3%」、中学2年生では「19.0%」となっており、小学6年生以外は前回の調査よりも「嫌い」の割合が減少する結果となった。

3 あなたは、ひと月平均で、何冊の本（マンガを除く）を読みますか？

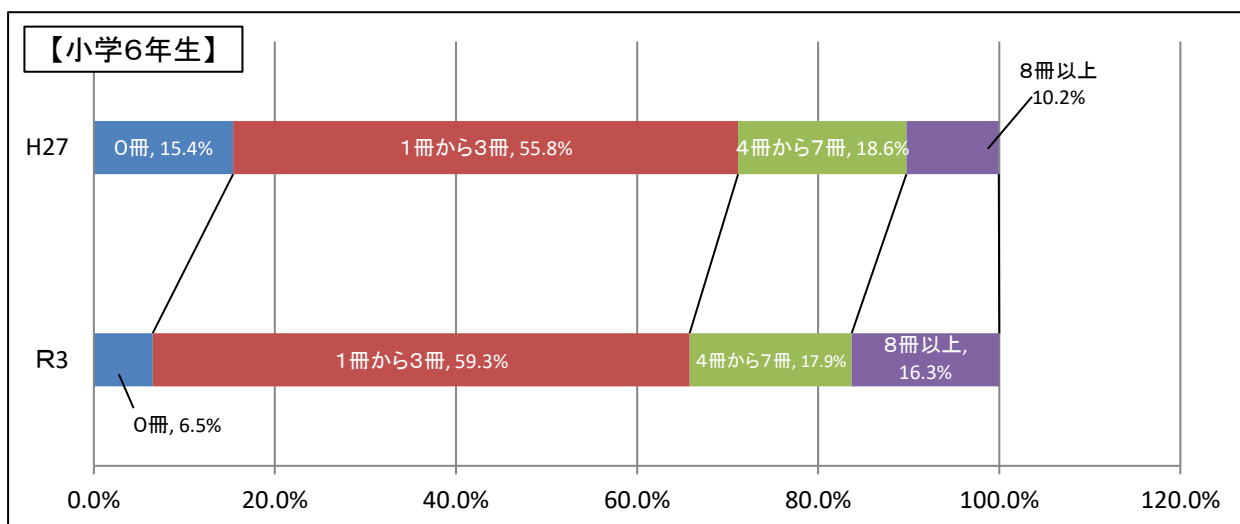
【小学校3年生】

項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
0冊	7人	6.7%	4.1%
1冊から3冊	25人	24.0%	44.6%
4冊から7冊	22人	21.2%	27.0%
8冊以上	50人	48.1%	24.3%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	104人	100.0%	100.0%



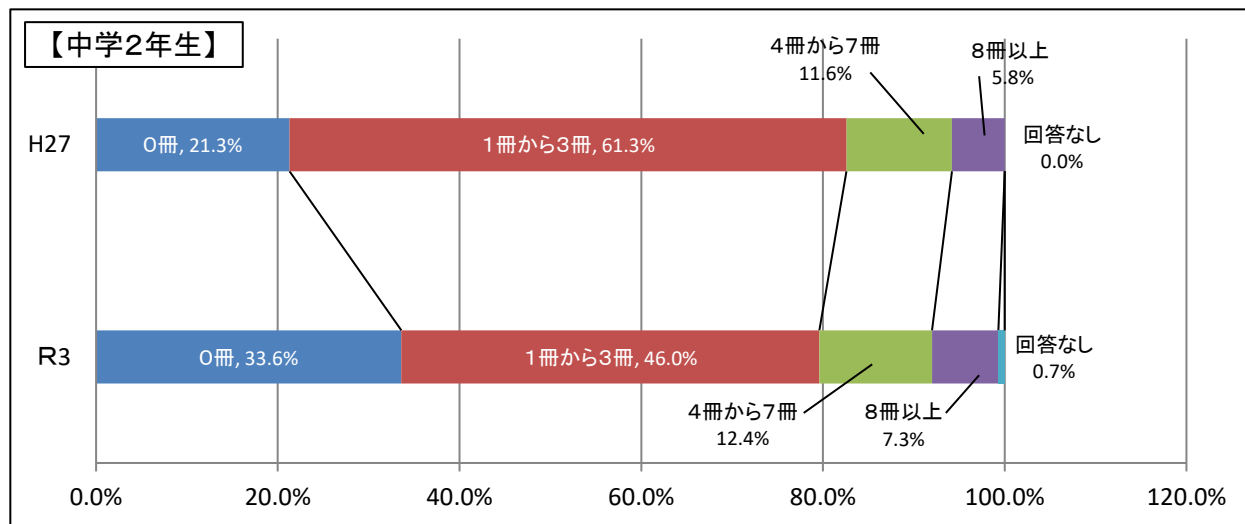
【小学校6年生】

項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
0冊	8人	6.5%	15.4%
1冊から3冊	73人	59.3%	55.8%
4冊から7冊	22人	17.9%	18.6%
8冊以上	20人	16.3%	10.2%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	123人	100.0%	100.0%



【中学校2年生】

項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
0冊	46人	33.6%	21.3%
1冊から3冊	63人	46.0%	61.3%
4冊から7冊	17人	12.4%	11.6%
8冊以上	10人	7.3%	5.8%
回答なし	1人	0.7%	0.0%
合計	137人	100.0%	100.0%



■「マンガ以外の本をひと月平均何冊の本を読むか」の設問では、「1冊以上」読んでいる子どもは、小学3年生で「93.3%」、小学6年生で「93.5%」、中学2年生で「66.4%」という結果となっており、前回調査と比較して6年生が8.9ポイント増加したのに対し、中学2年生は12.3ポイントの減少となっている。

■一方で「月に0冊（ほとんど読まない）」という子どもは、小学3年生で「6.7%」、小学6年生で「6.5%」、中学2年生で「33.6%」と、前回調査と比較して小学6年生は「8.9ポイント」の減少であったのに対し、中学2年生は、「12.3ポイント」の増加となっている。

■2019年版の「第65回学校読書調査」のアンケート結果によると、「月に0冊（＝不読率）」の平均は、小学生で6.8%、中学生で12.5%であり、留萌市の調査結果と比較し、中学生は21.1ポイント以上、上回る結果となっている。

■小学生において、「1冊以上」読む子どもが高いポイントとなっている要因として、「学校図書館司書教諭」や「学校図書館ボランティア」の地道な活動、「全校一斉朝読書」等の取り組み定着などが考えられる。

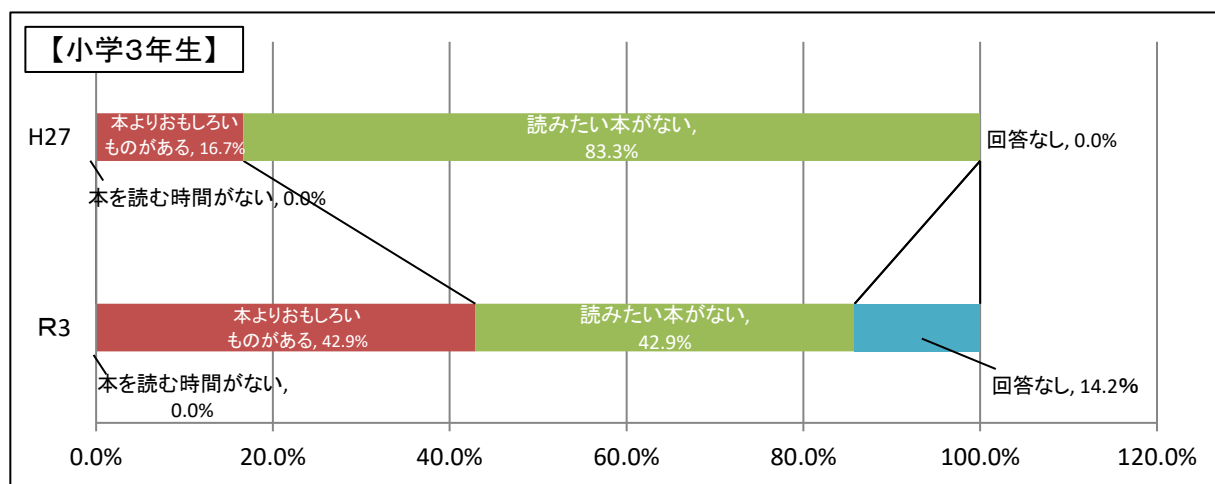
4 ほとんど本を読まない理由は何ですか？（前の質問で「〇冊」と答えた人が回答。）

【小学校3年生】

項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
本を読む時間がない	0人	0.0%	0.0%
本よりおもしろいものがある	3人	42.9%	16.7%
読みたい本がない	3人	42.9%	83.3%
その他	0人	0.0%	0.0%
回答なし	1人	14.2%	0.0%
合計	7人	100.0%	100.0%

《『本より面白いものがある』主な理由》

○スポーツ・ゲーム



【小学校6年生】

項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
本を読む時間がない	1人	12.5%	23.1%
本よりおもしろいものがある	2人	25.0%	26.9%
読みたい本がない	1人	12.5%	46.2%
その他	4人	50.0%	3.8%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	8人	100.0%	100.0%

《『本を読む時間がない』主な理由》

○色々やることがあるから

《『本より面白いものがある』主な理由》

○動画・YouTube

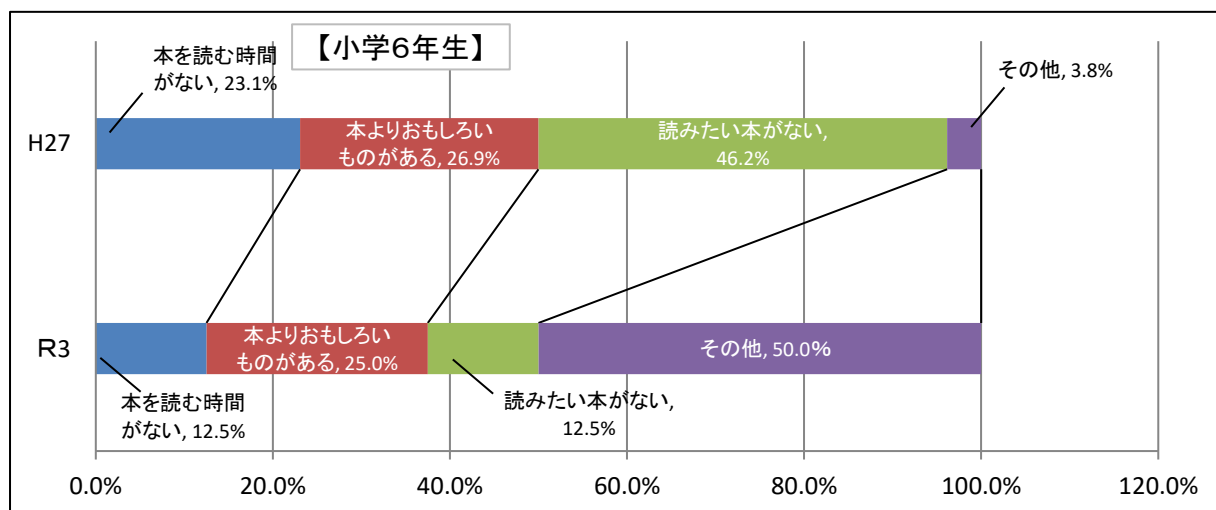
○漫画・インターネット

《『その他』主な理由》

○本がない

○全部同じ本で読むものがない

○本が家がない



【中学校2年生】

項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
本を読む時間がない	12人	24.5%	14.2%
本よりおもしろいものがある	19人	38.8%	22.9%
読みたい本がない	14人	28.6%	40.0%
その他	4人	8.1%	22.9%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	49人	100.0%	100.0%

《『本を読む時間がない』主な理由》

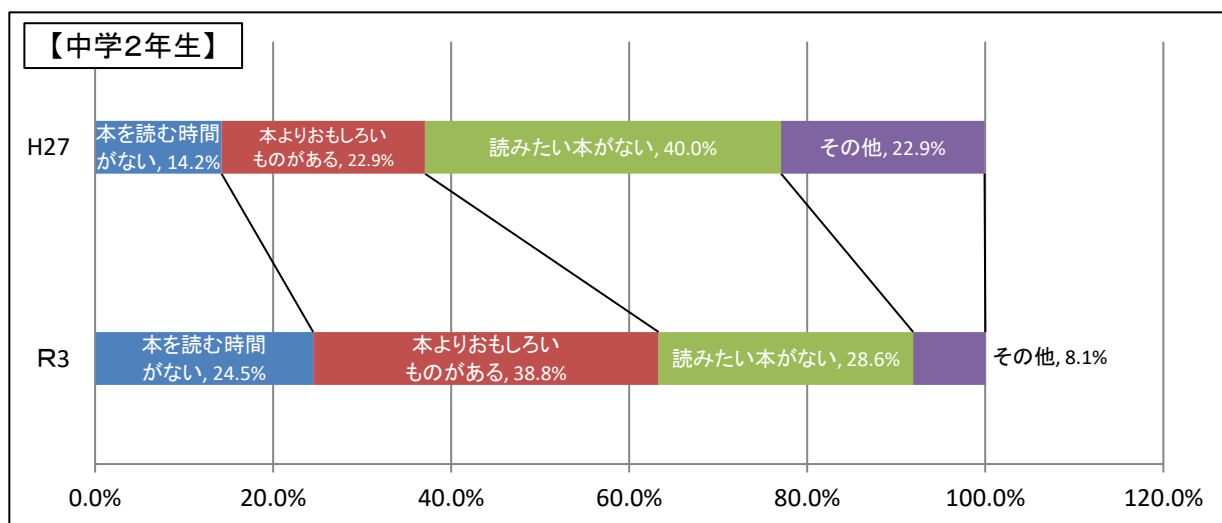
○部活や勉強 ○時間を作ってない ○寝る ○本を読みたくない ○習い事

《『本より面白いものがある』主な理由》

○ゲーム・野球 ○動画 ○スマホ ○アニメ・マンガ
○スポーツ ○インターネット ○ユーチューブ

《『その他』主な理由》

○読もうと思わない ○面倒くさいから



■ひと月に読む本が「0冊」と回答した人に理由を尋ねたところ、小学3年生・6年生・中学2年生とも「本より面白いものがある」が第1位で、スマートフォンの普及などにより、動画鑑賞など様々なコンテンツがあふれている現在の状況を映し出す結果となっている。

■この設問の第2位は、前回の調査では第1位であった「読みたい本がない」となっており、「読みたい本」は何なのかなど、いかに興味を持ってもらえる本を揃えるかが課題となる。また、「読みたい本」や興味を持ってもらえる本を揃えたとしても、どのように情報発信をすればよいかについても課題として考えられる。

■「本を読む時間がない」（小学6年生、中学2年生）との回答も多くあり、特に中学2年生については、前回よりも10ポイント以上増加しており、部活動や勉強などで時間に追われている中学生の現状を示していると考えられます。

5 本を読むのはどうしてですか？（「3」の質問で「1冊以上読む」と答えた人が回答。）

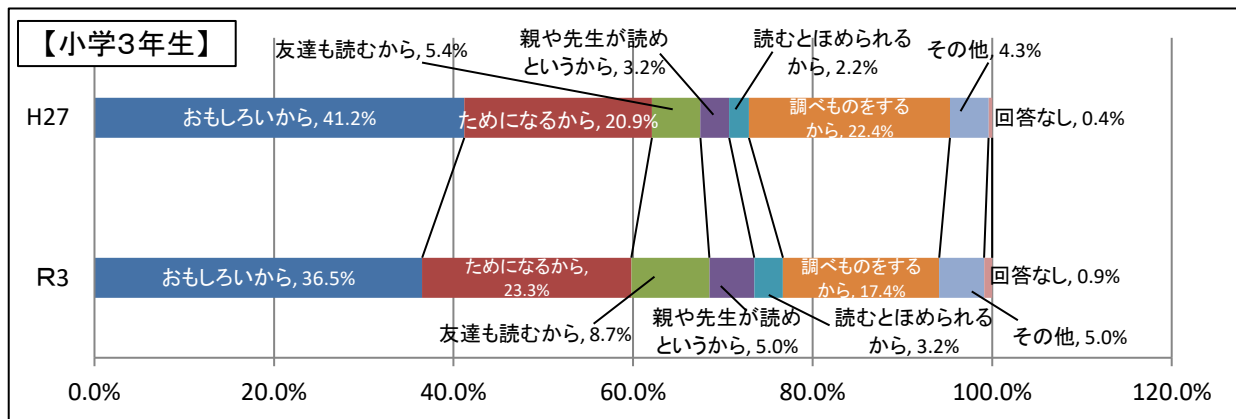
— 複数回答 —

【小学校3年生】

項 目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
おもしろいから	80人	36.5%	41.2%
ためになるから	51人	23.3%	20.9%
友達も読むから	19人	8.7%	5.4%
親や先生が読めというから	11人	5.0%	3.2%
読むとほめられるから	7人	3.2%	2.2%
調べものをするから	38人	17.4%	22.4%
その他	11人	5.0%	4.3%
回答なし	2人	0.9%	0.4%
合計	219人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な理由》

- 理解できるから ○想像力が増える ○いろんな事を覚えるから ○うれしいから
○読みたくなるから ○勉強になるから ○漢字がいっぱい載っていて覚えられる

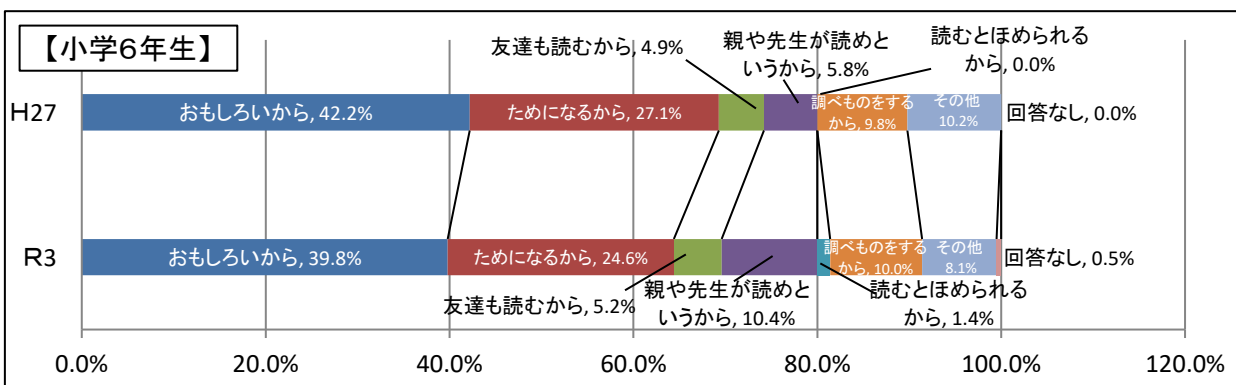


【小学校6年生】

項 目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
おもしろいから	84人	39.8%	42.2%
ためになるから	52人	24.6%	27.1%
友達も読むから	11人	5.2%	4.9%
親や先生が読めというから	22人	10.4%	5.8%
読むとほめられるから	3人	1.4%	0.0%
調べものをするから	21人	10.0%	9.8%
その他	17人	8.1%	10.2%
回答なし	1人	0.5%	0.0%
合計	211人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な理由》

- 集中力が上がるから ○暇つぶしになる ○勉強の一つだから ○読解力がつくから
○興味があったから ○他に読むものがないから ○内容がそれぞれ違うから
○勉強になるから ○朝読書で読まないといけないから ○読んだら何かスッキリするから

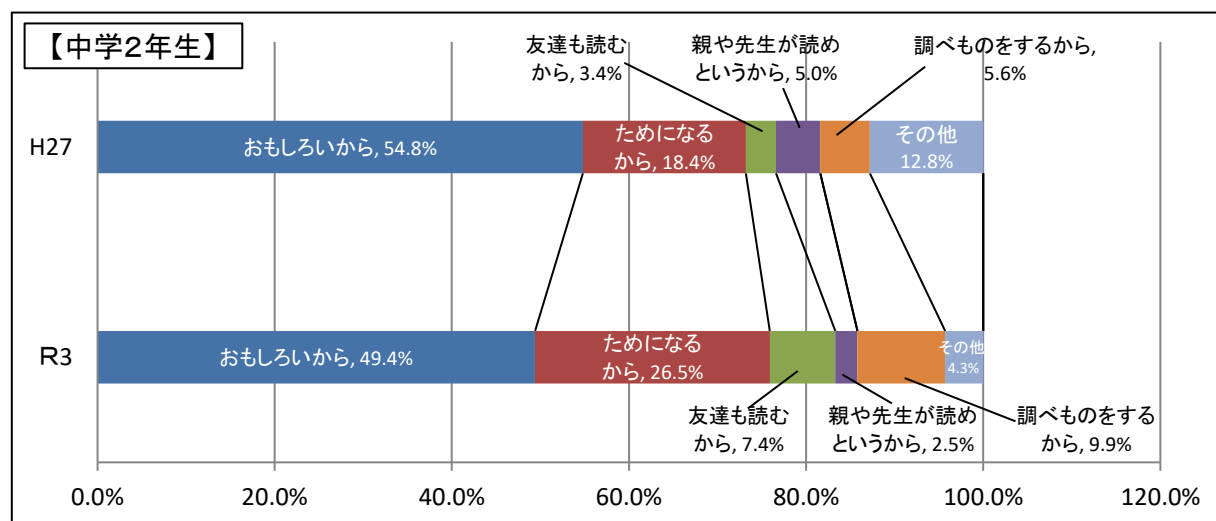


【中学校2年生】		回答数に占める割合	
項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
おもしろいから	80人	49.4%	54.8%
ためになるから	43人	26.5%	18.4%
友達も読むから	12人	7.4%	3.4%
親や先生が読めというから	4人	2.5%	5.0%
読むとほめられるから	0人	0.0%	0.0%
調べものをするから	16人	9.9%	5.6%
その他	7人	4.3%	12.8%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	162人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な理由》

○想像力が上がるから
○勉強のため
○知識がつくから

○インスピレーションが働くから
○人に本の面白さを伝えたいから
○何となく
○本の内容が気になったから



■ひと月に読む本が「1冊以上」と答えた人に、本を読む理由を尋ねたところ、どの学年においても、第1位は「おもしろいから」と回答であり、第2位は「ためになるから」との回答であった。

■第3位を見てみると、小学3年生と中学2年生は「調べものをするから」、小学6年生では「親や先生の勧め」となっている。どの学年においても「本を読む理由」の1位～3位まで、回答数に占める割合の70%以上を占めている。

■読書の目的が「親や先生の勧め」、「ほめられる」といった外発的動機の割合は、小学3年生では「8.2%」、小学6年生は「11.8%」であるのに対し、中学2年生では「2.5%」と低い割合となっている。なお、前回の調査では、小学6年生の外発的動機の割合は「5.8%」であり、倍近くのポイントとなっていることから、次回調査の際には注目しなければならない設問である。

6 あなたはどんな本が好きですか？（全員回答）

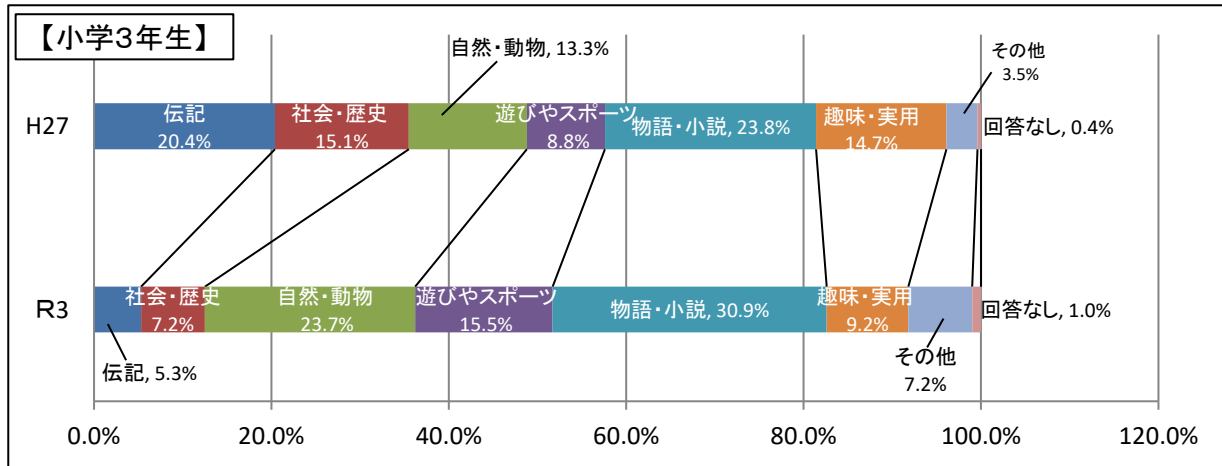
— 複数回答 —

【小学校3年生】

項 目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
伝記	11人	5.3%	20.4%
社会・歴史	15人	7.2%	15.1%
自然・動物	49人	23.7%	13.3%
遊びやスポーツ	32人	15.5%	8.8%
物語・小説	64人	30.9%	23.8%
趣味・実用	19人	9.2%	14.7%
その他	15人	7.2%	3.5%
回答なし	2人	1.0%	0.4%
合計	207人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な内容》

○クイズ ○ディズニー ○怖い本 ○マンガ ○なぞなぞ ○作り方の本
○可愛い本 ○占い ○秘密系・不思議系・宇宙 ○地図の絵本

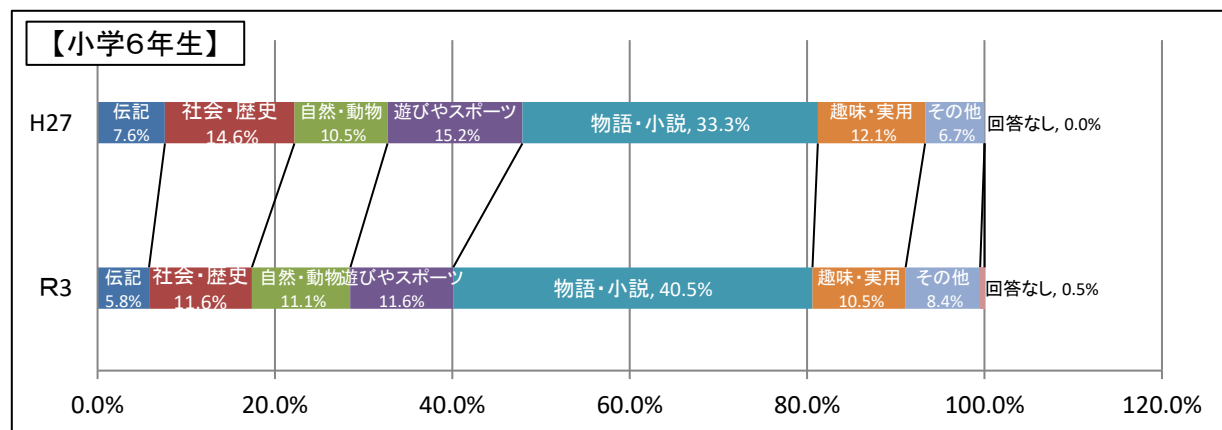


【小学校6年生】

項 目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
伝記	11人	5.8%	7.6%
社会・歴史	22人	11.6%	14.6%
自然・動物	21人	11.1%	10.5%
遊びやスポーツ	22人	11.6%	15.2%
物語・小説	77人	40.5%	33.3%
趣味・実用	20人	10.5%	12.1%
その他	16人	8.4%	6.7%
回答なし	1人	0.5%	0.0%
合計	190人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な内容》

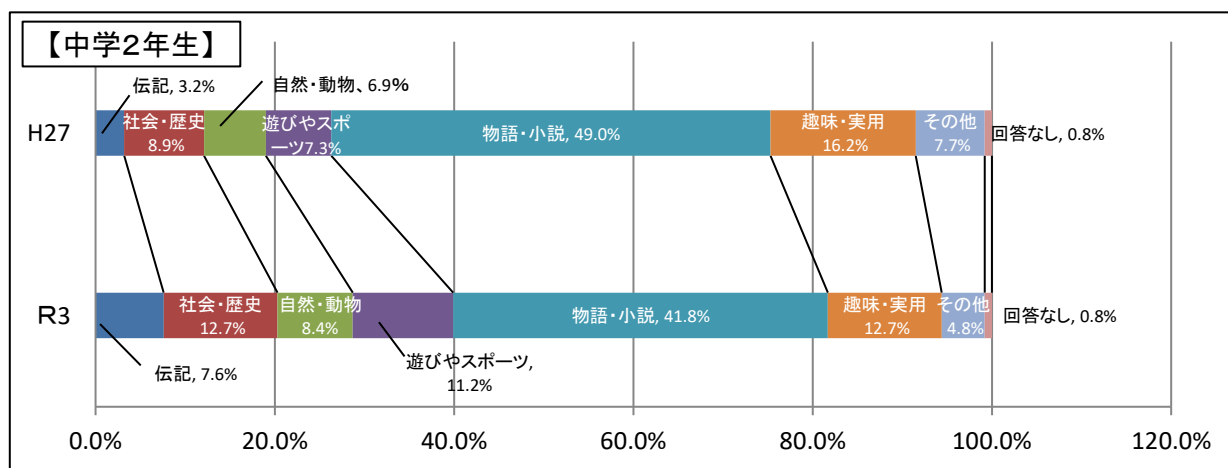
○宇宙の図鑑 ○働く車の本 ○マンガ ○サバイバル ○怖い本 ○飼育本
○理科 ○ホラー小説 ○キャラクター ○ゲーム ○絵本



【中学校2年生】		回答数に占める割合	
項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
伝記	19人	7.6%	3.2%
社会・歴史	32人	12.7%	8.9%
自然・動物	21人	8.4%	6.9%
遊びやスポーツ	28人	11.2%	7.3%
物語・小説	105人	41.8%	49.0%
趣味・実用	32人	12.7%	16.2%
その他	12人	4.8%	7.7%
回答なし	2人	0.8%	0.8%
合計	251人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な内容》

○恋愛もの ○アニメ ○異世界系統 ○ライトノベル ○マンガ
○恐竜・古代の生物 ○ノンフィクション ○アニメが元の小説



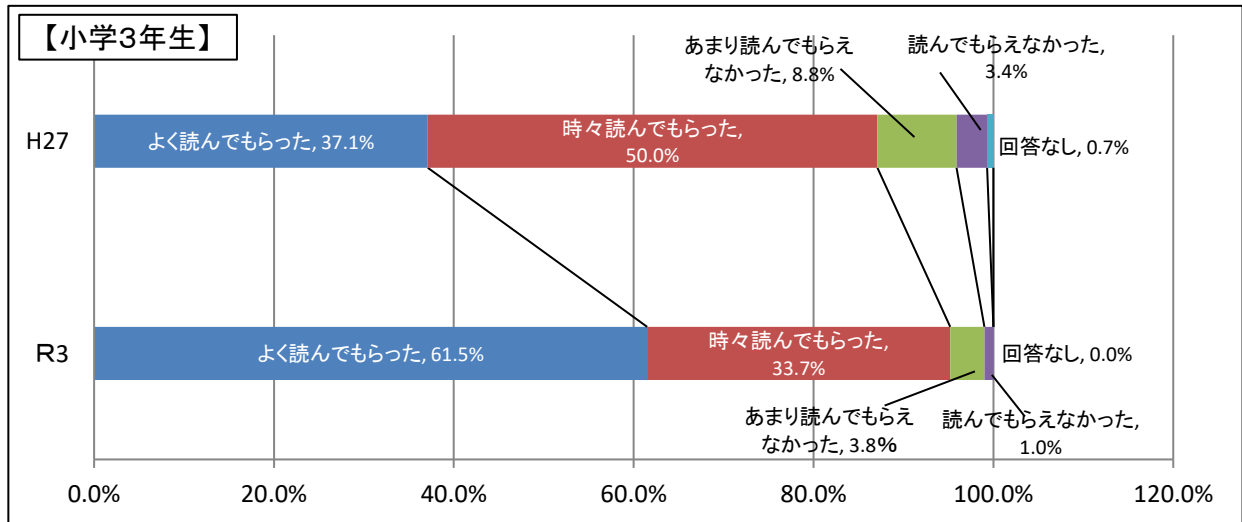
■子どもたちに、どんな本が好きかを尋ねたところ、どの学年においても第1位は「物語・小説」であり、前回調査と同様の傾向を示している。「物語・小説」の割合は、小学6年生、中学2年生ともに40%を超えており、第2位のジャンルに大差をつけている一方、小学3年生は2位の「自然・動物」との差が7ポイントしかなく、学年が上がるにつれ、「物語・小説」に興味に移っていく傾向にあることがわかる。

■「その他」の中学2年生では、ライトノベルやアニメが元の小説との回答もあり、読書に興味を持ってもらえる第一歩として、ライトノベル等の蔵書の必要性が伺える。

7 あなたは周りの人に本を読んでもらったことがありますか？（全員回答）

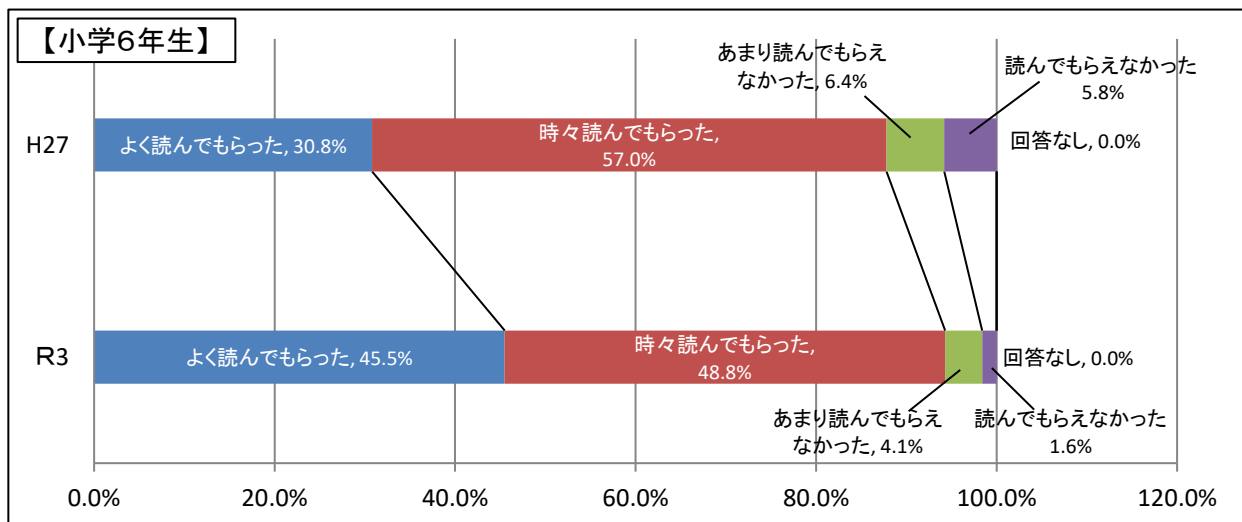
【小学校3年生】

項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
よく読んでもらった	64人	61.5%	37.1%
時々読んでもらった	35人	33.7%	50.0%
あまり読んでもらえなかった	4人	3.8%	8.8%
読んでもらえなかった	1人	1.0%	3.4%
回答なし	0人	0.0%	0.7%
合計	104人	100.0%	100.0%



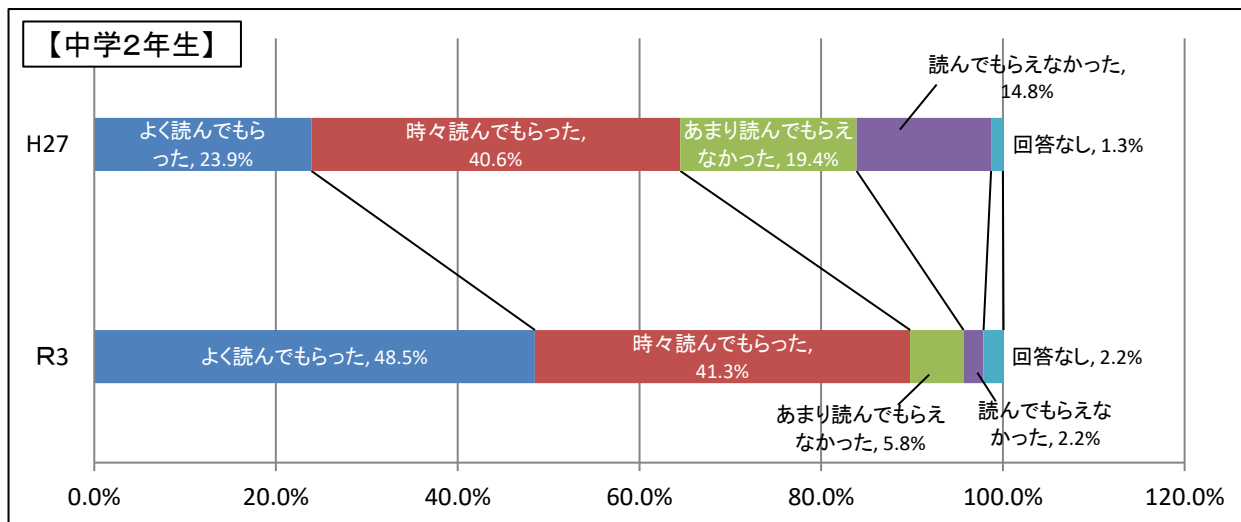
【小学校6年生】

項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
よく読んでもらった	56人	45.5%	30.8%
時々読んでもらった	60人	48.8%	57.0%
あまり読んでもらえなかった	5人	4.1%	6.4%
読んでもらえなかった	2人	1.6%	5.8%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	123人	100.0%	100.0%



【中学校2年生】

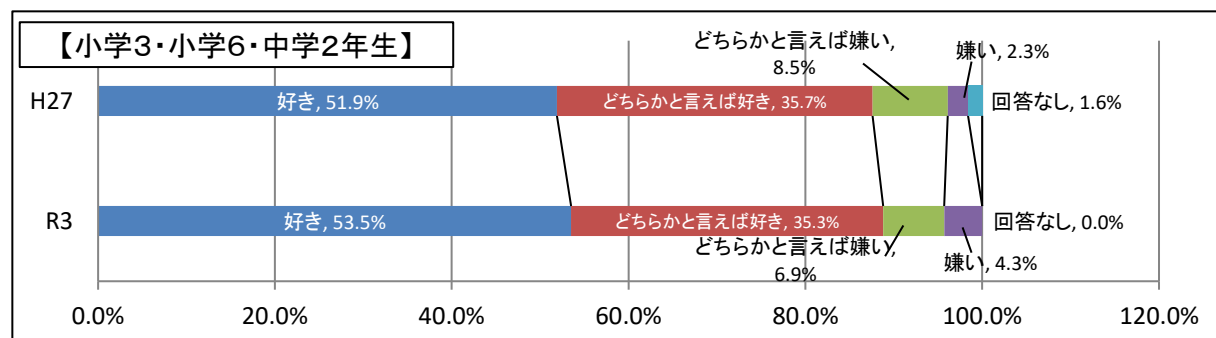
項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
よく読んでもらった	67人	48.5%	23.9%
時々読んでもらった	57人	41.3%	40.6%
あまり読んでもらえなかった	8人	5.8%	19.4%
読んでもらえなかった	3人	2.2%	14.8%
回答なし	3人	2.2%	1.3%
合計	138人	100.0%	100.0%



※ 本を「よく読んでもらった」子は本が好き？

【小3・小6・中2】

項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
■好き	100人	53.5%	51.9%
■どちらかと言えば好き	66人	35.3%	35.7%
■どちらかと言えば嫌い	13人	6.9%	8.5%
■嫌い	8人	4.3%	2.3%
■回答なし	0人	0.0%	1.6%
■合計	187人	100.0%	100.0%



■子どもたちの「読み聞かせ体験」を尋ねたところ、「よく読んでもらった」、「時々読んでもらった」を合わせると、小学3年生で「95.2%」、小学6年生が「94.3%」、中学2年生が「89.8%」と、どの学年においてもかなり高い数値を示している。特に、中学2年生の「よく読んでもらった」の数値が大幅に増加しており、行政や学校での読み聞かせの取り組み効果が表れているものと考えられる。

■「本をよく読んでもらった子どもは本が好きか」について検証したところ、『好き』と回答した人が「53.5%」、『どちらかと言えば好き』が「35.3%」で、前回調査とほぼ同数の結果となった。『好き』、『どちらかと言えば好き』と回答した合計88.8%の子どもたちが『本好き』と位置付けることができ、このことから、幼いころの『読み聞かせ』の経験は、読書習慣を形成する上で有効な動機づけとなっていることが分かる。

8 誰に本を読んでもらいましたか？（読んでもらったことがある人への質問）

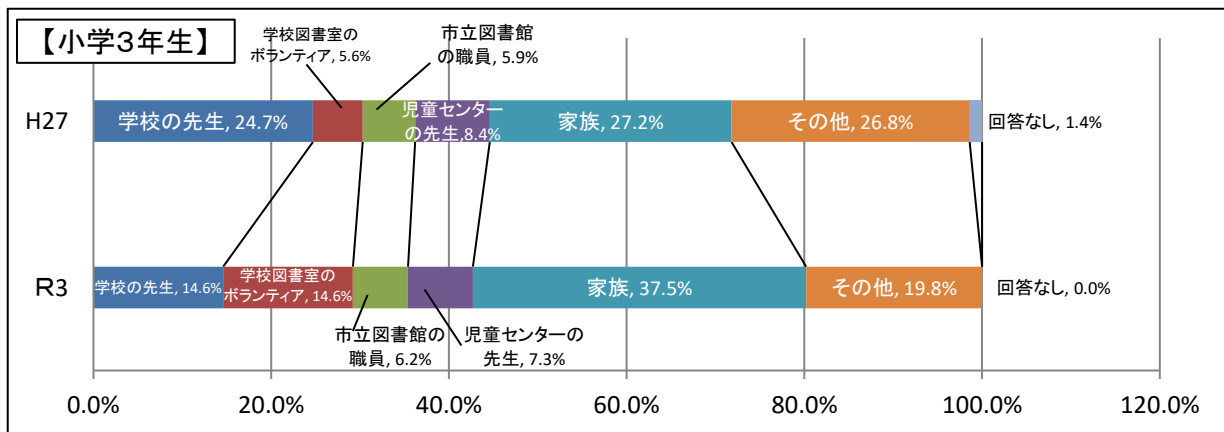
— 複数回答 —

【小学校3年生】

項 目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
学校の先生	28人	14.6%	24.7%
学校図書室のボランティア	28人	14.6%	5.6%
市立図書館の職員	12人	6.2%	5.9%
児童センターの先生	14人	7.3%	8.4%
家族	72人	37.5%	27.2%
その他	38人	19.8%	26.8%
回答なし	0人	0.0%	1.4%
合計	192人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な内容》

○保育園、幼稚園の先生 ○友達 ○親戚・いとこ ○おじいちゃん・おばちゃん
○5・6年生 ○児童館で2年生

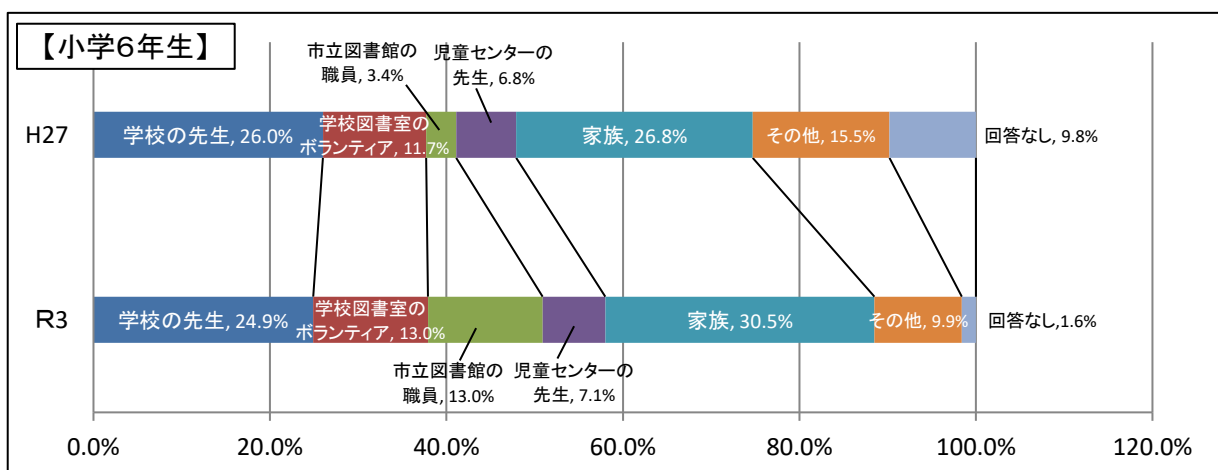


【小学校6年生】

項 目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
学校の先生	63人	24.9%	26.0%
学校図書室のボランティア	33人	13.0%	11.7%
市立図書館の職員	33人	13.0%	3.4%
児童センターの先生	18人	7.1%	6.8%
家族	77人	30.5%	26.8%
その他	25人	9.9%	15.5%
回答なし	4人	1.6%	9.8%
合計	253人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な内容》

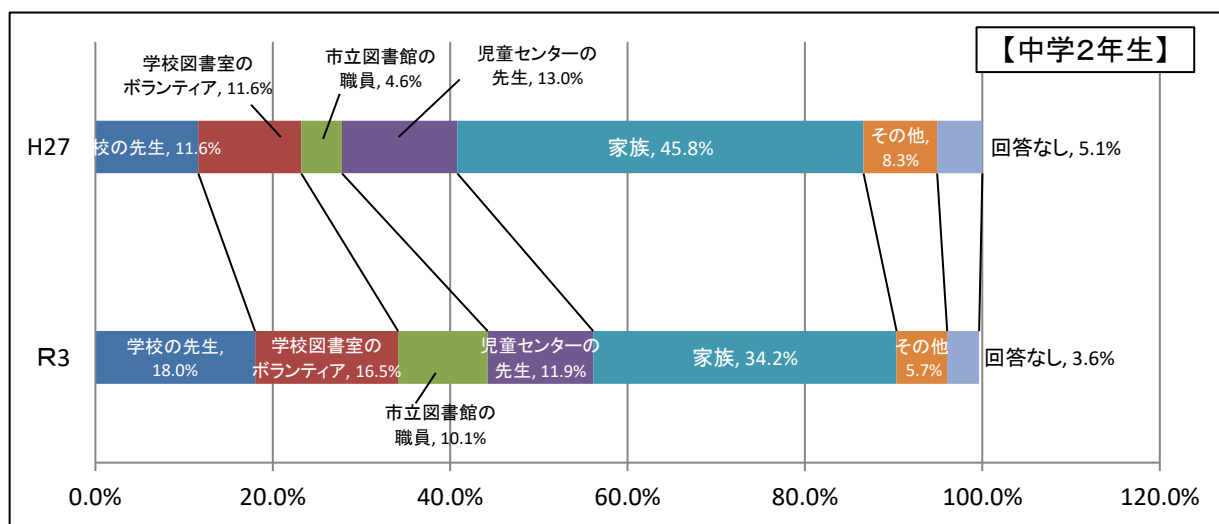
○保育園、幼稚園の先生 ○いとこ ○おばあちゃん ○図書委員会 ○他の学年
○放課後センター



【中学校2年生】		回答数に占める割合	
項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
学校の先生	50人	18.0%	11.6%
学校図書室のボランティア	46人	16.5%	11.6%
市立図書館の職員	28人	10.1%	4.6%
児童センターの先生	33人	11.9%	13.0%
家族	95人	34.2%	45.8%
その他	16人	5.7%	8.3%
回答なし	10人	3.6%	5.1%
合計	278人	100.0%	100.0%

＜『その他』の主な内容＞

○保育園、幼稚園の先生 ○三省堂のイベント ○祖父母



■誰に本を読んでもらったか尋ねたところ、どの学年においても第1位は「家族」による読み聞かせであり、第2位も共通して「学校の先生」となっている。

■「家族」に読んでもらった割合については、小学校においては増加、中学校においては減少と傾向が分かれているが、どちらも「30%」を超える数値となっており、家庭内において本をとおして親子の絆を深める環境が整備されてきている結果と言える。

■9ヶ月児検診の際に、参加したすべての赤ちゃんと保護者に絵本などをプレゼントし、読み聞かせの大切さを伝える「ブックスタート事業」を継続して実施しており、これも要因の一つと考えられる。

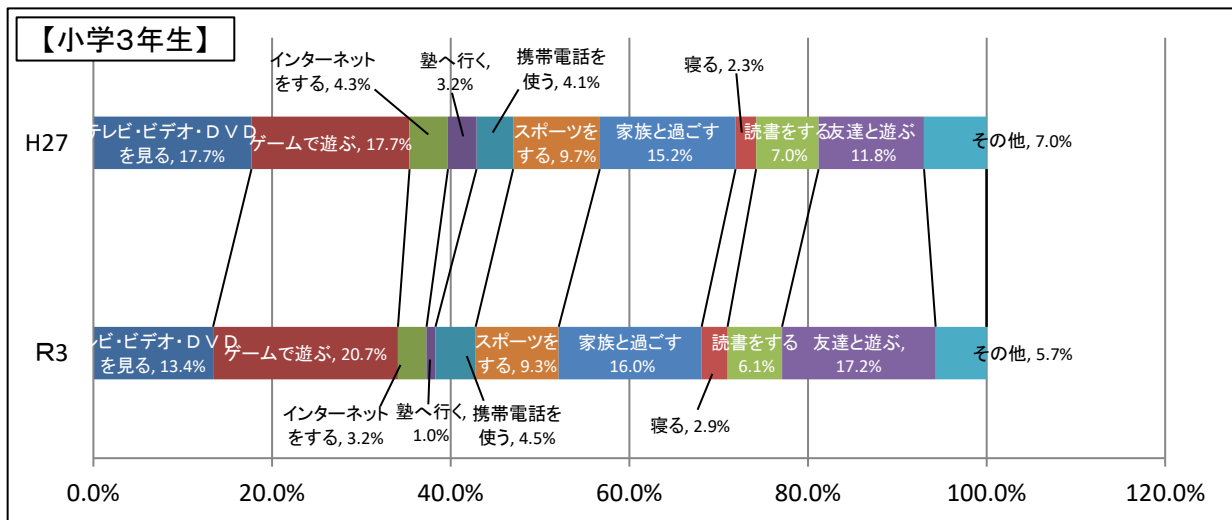
9 あなたは普段の生活では、どのように時間を過ごすことが多いですか？

— 多いもの3つにを選択 —

【小学校3年生】		回答数に占める割合	
項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
テレビ・ビデオ・DVDを見る	42人	13.4%	17.7%
ゲームで遊ぶ	65人	20.7%	17.7%
インターネットをする	10人	3.2%	4.3%
塾へ行く	3人	1.0%	3.2%
携帯電話を使う	14人	4.5%	4.1%
スポーツをする	29人	9.3%	9.7%
家族と過ごす	50人	16.0%	15.2%
寝る	9人	2.9%	2.3%
読書をする	19人	6.1%	7.0%
友達と遊ぶ	54人	17.2%	11.8%
その他	18人	5.7%	7.0%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	313人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な内容》

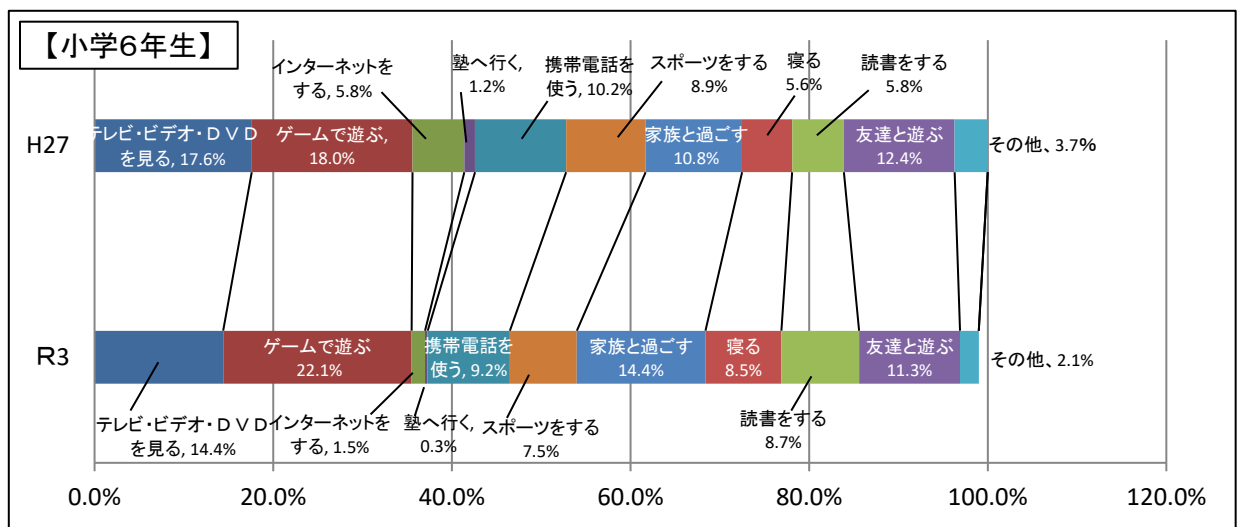
- ☐お手伝い ☐宿題や勉強 ☐兄弟と遊ぶ ☐勉強をする ☐1人でのいる・遊んでいる
☐公園に行く ☐児童館 ☐ピアノ・外遊び ☐絵を描く ☐児童館・妹の面倒
☐マンガを読む ☐習い事の練習



【小学校6年生】		回答数に占める割合	
項 目	回答数	今回 構成比	前回 構成比
テレビ・ビデオ・DVDを見る	56人	14.4%	17.6%
ゲームで遊ぶ	86人	22.1%	18.0%
インターネットをする	6人	1.5%	5.8%
塾へ行く	1人	0.3%	1.2%
携帯電話を使う	36人	9.2%	10.2%
スポーツをする	29人	7.5%	8.9%
家族と過ごす	56人	14.4%	10.8%
寝る	33人	8.5%	5.6%
読書をする	34人	8.7%	5.8%
友達と遊ぶ	44人	11.3%	12.4%
その他	8人	2.1%	3.7%
回答なし	0人	0.0%	0.0%
合計	389人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な内容》

- ☐タブレット ☐ピアノをひく・いとこと遊ぶ ☐ペットと遊ぶ ☐勉強する ☐絵を描く

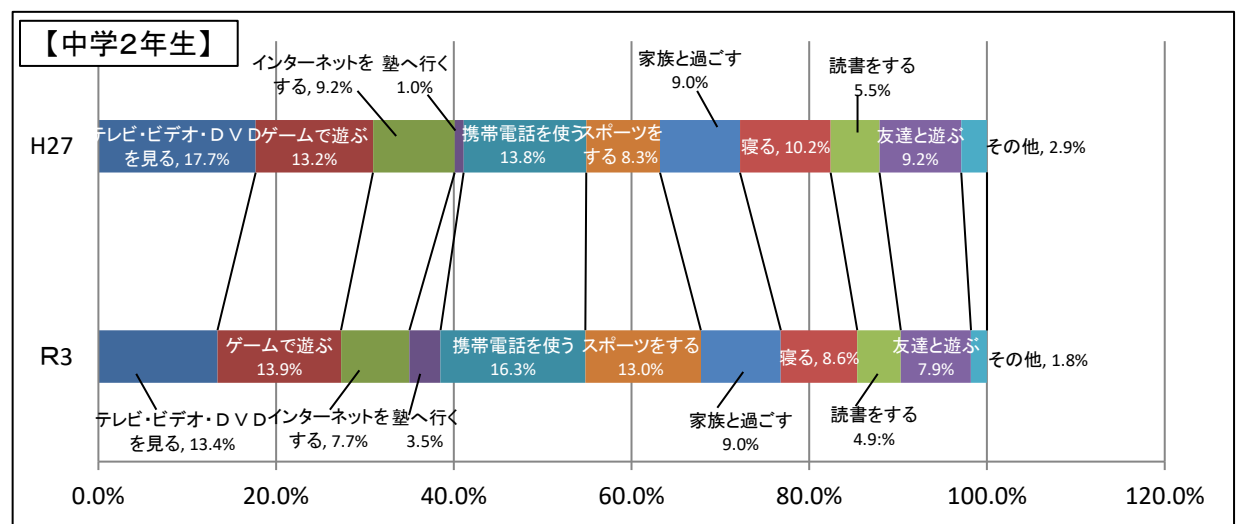


【中学校2年生】

項目	回答数	回答数に占める割合	
		今回 構成比	前回 構成比
テレビ・ビデオ・DVDを見る	61人	13.4%	17.7%
ゲームで遊ぶ	63人	13.9%	13.2%
インターネットをする	35人	7.7%	9.2%
塾へ行く	16人	3.5%	1.0%
携帯電話を使う	74人	16.3%	13.8%
スポーツをする	59人	13.0%	8.3%
家族と過ごす	41人	9.0%	9.0%
寝る	39人	8.6%	10.2%
読書をする	22人	4.9%	5.5%
友達と遊ぶ	36人	7.9%	9.2%
その他	8人	1.8%	2.9%
合計	454人	100.0%	100.0%

《『その他』の主な内容》

○ピアノ ○勉強 ○ぼーっとする ○宿題をする ○勉強をする



■子どもたちが、普段の生活の中でどのように時間を過ごすことが多いかを尋ねたところ、小学生では「ゲームで遊ぶ」が第1位となっているのに対し、中学生では「携帯電話（スマホ含む）を使う」が第1位となっており、中学生におけるスマートフォンの普及を表す結果といえる。

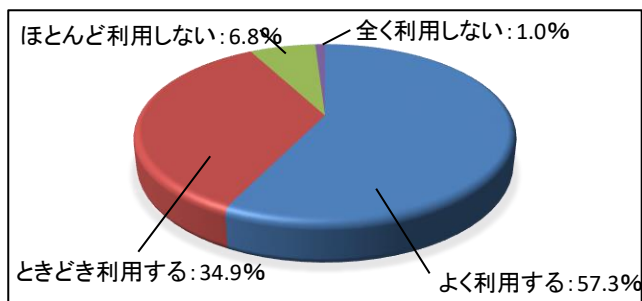
■また、小学3年生で第2位が「友達と遊ぶ」、第3位が「家族と過ごす」となっており、小学6年生も同率2位で「家族と過ごす」との結果となった。特に、小学6年生は前回の調査から3.6ポイント増加しており、新型コロナウイルスの感染拡大により家庭内で過ごす時間が多くなったことも影響していると考えられる。

■一方、中学2年生の第2位は「ゲームで遊ぶ」、第3位は「テレビ・ビデオ・DVDを見る」となっており、「家族と過ごす」は前回の調査と同数の9%であり、家庭内で過ごす時間が多くなっても、趣味などに時間を要していることがわかる結果となった。

10 あなたは学校図書館や学級文庫をどのくらい利用しますか？

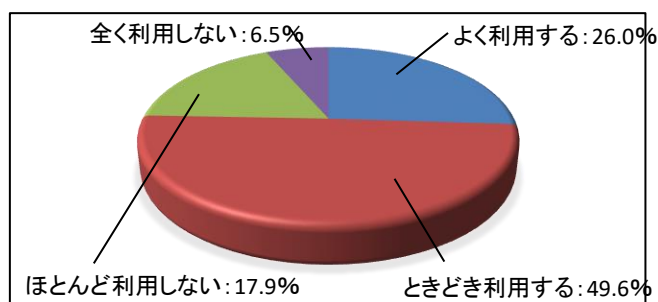
【小学校3年生】

項 目	回答数	今回 構成比
よく利用する	59人	57.3%
ときどき利用する	36人	34.9%
ほとんど利用しない	7人	6.8%
全く利用しない	1人	1.0%
回答なし	0人	0.0%
合計	103人	100.0%



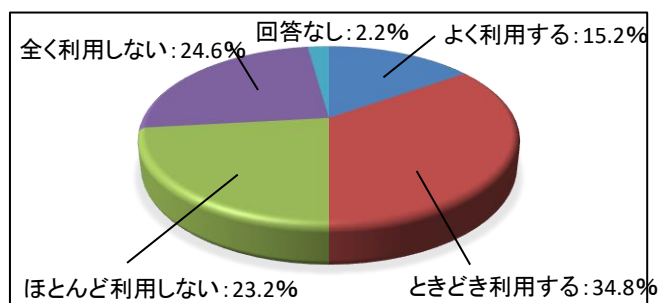
【小学校6年生】

項 目	回答数	今回 構成比
よく利用する	32人	26.0%
ときどき利用する	61人	49.6%
ほとんど利用しない	22人	17.9%
全く利用しない	8人	6.5%
回答なし	0人	0.0%
合計	123人	100.0%



【中学2年生】

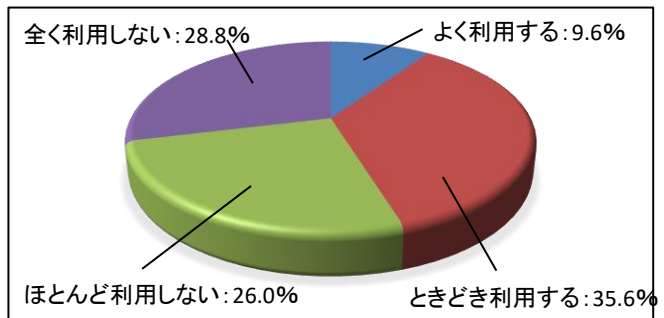
項 目	回答数	今回 構成比
よく利用する	21人	15.2%
ときどき利用する	48人	34.8%
ほとんど利用しない	32人	23.2%
全く利用しない	34人	24.6%
回答なし	3人	2.2%
合計	138人	100.0%



11 あなたは市立図書館をどのくらい利用しますか？

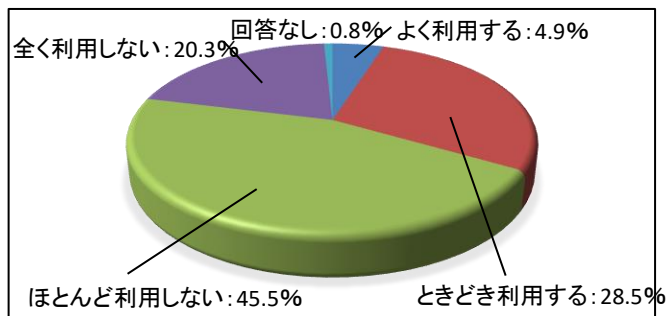
【小学校3年生】

項 目	回答数	今回 構成比
よく利用する	10人	9.6%
ときどき利用する	37人	35.6%
ほとんど利用しない	27人	26.0%
全く利用しない	30人	28.8%
回答なし	0人	0.0%
合計	104人	100.0%



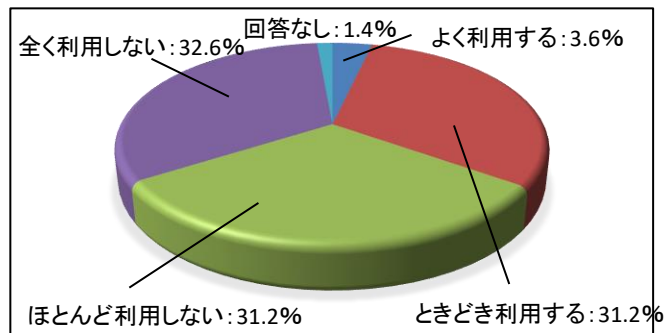
【小学校6年生】

項 目	回答数	今回 構成比
よく利用する	6人	4.9%
ときどき利用する	35人	28.5%
ほとんど利用しない	56人	45.5%
全く利用しない	25人	20.3%
回答なし	1人	0.8%
合計	123人	100.0%



【中学2年生】

項 目	回答数	今回 構成比
よく利用する	5人	3.6%
ときどき利用する	43人	31.2%
ほとんど利用しない	43人	31.2%
全く利用しない	45人	32.6%
回答なし	2人	1.4%
合計	138人	100.0%



■第4次計画の策定にあたり、新たに、学校図書館や学級文庫、市立図書館の利用状況についての項目を追加し、身近な読書環境についての利用状況を調査。

■調査の結果、学校図書館や学級文庫の利用については、「よく利用する」「ときどき利用する」の割合の合計が小学3年生では「92.3%」、小学6年生では「75.6%」であったのに対し、中学2年生では「よく利用する」「ときどき利用する」の合計が「50%」となっており、「ほとんど利用しない」「全く利用しない」の合計「47.8%」とほぼ同数となっていることから、学年が上がるに連れ、学校図書館や学級文庫の利用が少なくなっていることが分かる結果となっている。

■市立図書館の利用については、「ほとんど利用しない」「全く利用しない」の合計が、小学3年生では「54.8%」、小学6年生では「65.8%」、中学2年生では「63.8%」となっており、子ども達に市立留萌図書館を利用してもらえるかが大きな課題となっている。

13 あなたはどうすれば、もっと本を読むことができる（好きになる）と思いますか？

【小学校3年生】

1	たくさん読めば大好きになると思います
2	宿題ややることをもっと早く終わらせる
3	朝早く起きて読む
4	読む時間があればおもしろい本を見れる
5	興味ある本をもっと増やしてほしい
6	自分が好きな本を見つけて本を読む時間を増やす
7	自然と動物の本が好きなのもっと出して欲しい
8	本に興味を持つ
9	編み物や縫物などの本をたくさん借りる
10	おもしろい本がほしい
11	もっと勉強して図鑑や本を見たら本が好きになると思う
12	自分の好きな本を見つけるためにもっと図書室に行く
13	おもしろくて色々な登場人物がいっぱい出てくるから
14	楽しいと思って読む
15	伝記の本がいっぱい増えれば
16	1回読んでそれでおもしろくなったりして本が好きになる
17	自分の過ごす時間に本を読む
18	色々な事にチャレンジしていろんな本で調べものをする
19	家に好きな本を増やす
20	興味があるし本を読んだら色々なことが知れるしおもしろいからです
21	興味を知る・虫を観察したり、魚を観察したり自然をよく知る
22	マンガ以外に好きな本や気になる本などを探して表紙で判断しないで中身を読んで見たらおもしろいことがわかって読める
23	好きな本がたくさんある
24	文字数の少ない本（図鑑は別で）
25	楽しく言葉をしっかり読む
26	好きな物語や好きなこと（理科）の本をもっと知るようにする
27	色々な時間をける
28	漢字を覚える
29	目標を立てる
30	静かな時間が増えたら読むかもしれません
31	友達が読んでてすきになる
32	歴史の本を読む

【小学校6年生】

1	好きな本（読んでみたい本）を無料でもらえる
2	自分に合う本を探したりする
3	おもしろい本を見つける
4	自分が読んでみたいと思う本やみんながおもしろいという本を探して読む
5	小さい子などや小学1～3を対象に読み聞かせをしたり読書週間を身につける
6	おもしろい事があるなら好きになるかもしれない
7	図書室の人気の本のシリーズを増やしたらみんなが来て借りに来ると思う
8	読みたい本アンケートみたいなのを取って1番投票数が多かった本を図書室に出す
9	好きな本は人によって違うから出来るだけ種類を多くする・図書室は種類が多いけど週に1回しか利用できないし学級文庫は小説の方が多い
10	本を読む時内容などをよく読んで理解すること
11	小説にもっと興味を示すといいと思う
12	インターネットを使わない
13	勉強の本でもいいから本に興味を持つ
14	好きな本を買ってもらう
15	読みたい時に本を読むこと
16	本のことを知る
17	暇ができたなら読む
18	短編集なら読む
19	好きな本が近くにある・好きになる本が読める環境になる
20	低学年から高学年も読みやすい本をにした方がいいと思う・挿し絵を入れた方がいいと思う
21	ためになり、その上面白い本を作って欲しい、そして学校で読書を読む機会が欲しい
22	自分で趣味の本を見つける
23	学校で本を読む時間を増やす・人気のある本をたくさん置く・本をどれ位読んだかを記録する物を配る

24	もっと高学年の女の子が好きそうな本・難しい漢字を使わないで欲しい
25	朝読書の時間を増やす・人気のある本を増やしてみんなが借りれるようにする
26	マンガのような本を作るともっと好きになる人が増えると思います
27	探偵の本を図書室に置いて欲しい
28	中休みでも本を読む
29	理科学的な本が欲しいと思う
30	もっと自然・動物の本を多くした方がいい
31	好きな本を検索する（ネットで）
32	字の勉強をして自分で読めるようにする
33	野球の本をもうちょっと増やせばもっと本が読める
34	1冊、1冊がどういう内容なのかを教えて欲しい
35	自分の好きなキャラクターなどを物語の中の子にあてはめて読む
36	物語や小説の本をもっと増やしたらもっと好きになると思う
37	歴史の本を読みたい
38	最近の新しい本を図書館に増やして欲しい
39	家で読書の時間を作る
40	もっと本を読むといい事を考えたり、自分の好きな本の内容を探ること
41	スポーツの本を出してくればもっと本を読むことができる
42	ミステリー小説や冒険の小説などがあればもっと本を読むことができるようになると思う
43	自分の好きな本を読むこと

【中学校2年生】

1	好きな本を探す
2	1人1冊本を借りて読んでもらったり少しの時間の中で読んでもらう
3	時間が増えたり、面白い本を買うお金ができれば
4	読みたい本を読むことができる
5	物語など色々なものが選べたら
6	短い本だったら好き・読める
7	本に触れる期間を増やしたり、まずは読んでみる
8	今、学校で読む時間がまったくないので、学校で読む時間をもっと作って欲しい
9	色々な物を読み自分に合うものを探す
10	周りに何も無い状態で本を渡されたらたくさん本を読めると思う
11	本のタイトルなどを面白いと思ってとれる本にするなどの細工をすればいい
12	おすすめの本を紹介する
13	移動図書館（車）
14	学校での朝読書の時間を増やす
15	本について知る（調べる）（作者など）
16	絵本から読み始めて、それから小説などを読み始めれば本が好きになると思う
17	無理して読まずに自分の好きなタイミングの時に読めば好きになる
18	自分の趣味に合った本を探す
19	図書室などで本を借りる時間を作る
20	スマホの時間をなくして本を読む
21	子どもや高齢者などでも読みやすい本を増やす
22	図書館に行く回数を増やす
23	頑張って読む
24	興味のある本を探して読む
25	本を読むことの良さについてみんなに伝えていく・小さい子向けの読み聞かせを増やす
26	頭が良くなったら読むと思う
27	多くの種類の本を置く
28	本に興味を持つようになれば好きになると思う
29	絵を多くする・字を大きくする
30	マンガを小説にした本を増やす
31	寝る前や朝に5～10分程度読めば何日かけて1冊読めそうです
32	ゲームがこの世の中から消えれば本を読む人も増えると思う
33	漢字を読めるようにする
34	簡単な物語
35	電子書籍で読める本を増やしていただければ、インターネットを使用するついでに読むことが増えるかもしれません
36	絶対に本を読まなければいけない時間があったら読むことができる・寝る時間を減らす
37	面白い本を見つける
38	自由な時間を増やす
39	興味のある本を探す

40	友達におすすめの本を聞く・短い小説を読む
41	本を買う
42	興味が湧くような本が増える
43	それぞれの人に合ったジャンルの本をおすすめしたりすればいいと思う
44	好きな映画やドラマが小説になったものだと本を読むことができると思う

発 行 留萌市教育委員会
策 定 令和4年3月

〒077-0031 留萌市幸町 1 丁目 14 番地
電 話 0164-42-0435
F A X 0164-43-6312
E-mail syougaiagakusyu@e-rumoi.jp